

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現	
	1 目	社会福祉総務費		( 1 )	地域での孤立防止を推進する	
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	民生委員関係費		
実施計画 掲載ページ	P 59		事 業 名	民生委員・児童委員関係事業		
目的及び事業内容	民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受けて配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図るため、民生委員・児童委員の活動経費の一部として石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付する。また、民生委員推薦会を開催し、候補者を県に進達する。					
取組実績	<p>1 石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金の交付 社会的孤立の防止や複雑な地域課題等への対応により、委員活動の負担が増加しているため活動費を増額した。 ※前年比5,000円増 R2@49,000円</p> <p>(1) 活動費 @54,000円×実数339人=18,306,000円 ※実数は年度中の最大委嘱数 (2) 啓発活動費等 111,280円 合計 18,417,280円</p> <p>2 委嘱状況 (1) 令和3年度末の委嘱状況 定数：370人 現委嘱数：334人 欠員数：36人</p> <p>(2) 石巻市民生委員推薦会の開催（計3回、候補者13名） 第1回：令和3年4月6日から4月9日（持ち回りによる審査） 6名推薦 第2回：令和3年7月30日（持ち回りによる審査） 3名推薦 第3回：令和3年12月17日から12月24日（持ち回りによる審査） 4名推薦</p> <p>3 欠員地区への対応、民生委員活動等の周知 (1) 欠員地区の自治会長等へ現況、候補者の有無について聴取（12月実施） (2) 石巻市地域連携会議総会等において候補者推薦について依頼（6、7月開催） (3) 市報やホームページにより市民へ民生委員の役割や活動内容を周知 （市報：5月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、3月 計8回掲載）</p>					
成 果	社会的孤立や複雑・多様化する生活課題を抱える市民への対応、多発する自然災害に備えた災害時要配慮者への支援等民生委員活動の負担が増大しているため、活動費を増額することにより、経済的負担の軽減が図られた。 また、市報等を活用し、地域の身近な相談相手として活動する民生委員の役割等を周知することで、認知度の向上と理解促進が図られた。					
成果に係る評価	地域における関係性の希薄化が進行するとともに、社会的孤立等市民が抱える生活課題は複雑・多様化しており、民生委員の職責と業務量は増加傾向にあるため、活動内容等の周知や活動経費の一部を交付することで負担軽減を図る必要がある。 また、市報等を活用した継続的な周知を行い、認知度向上や理解促進及び民生委員としてのやりがいを高めることで、活動環境を整備し、地域福祉の向上に努めていく必要がある。 欠員地区については、地域活動に携わる関係者や社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターとも連携しながら地域の現状把握に努めるとともに、欠員解消や早期退任者の減少を図るため、負担軽減策を検討する必要がある。					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	18,626,705	18,454,661				18,454,661

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち												
	1 項	社会福祉費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現												
	1 目	社会福祉総務費		( 1 )	地域での孤立防止を推進する												
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	社会福祉関係助成費													
実施計画掲載ページ	P 59		事 業 名	社会福祉協議会運営費補助事業													
目的及び事業内容	石巻市社会福祉協議会が行う事務事業等の運営費の一部を補助することにより、同法人の円滑な事業推進を支援し、地域福祉の増進を図る。																
取組実績	石巻市社会福祉協議会の本所・支所職員に係る人件費相当分の一部を補助金として交付した。  補助金交付額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助額</th> <th>補助対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>174,966,497円</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>165,821,956円</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>170,725,517円</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table>					年度	補助額	補助対象人数	R1	174,966,497円	35名	R2	165,821,956円	34名	R3	170,725,517円	34名
年度	補助額	補助対象人数															
R1	174,966,497円	35名															
R2	165,821,956円	34名															
R3	170,725,517円	34名															
成 果	子ども・高齢者・障害者など全ての市民が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組や包括的な支援体制の構築の推進を図るため、地域福祉の中核を担う石巻市社会福祉協議会に運営費の一部を補助することにより、事業の安定的な運営が確保され、地域住民や関係団体との連携及び協働による本市の地域福祉の推進が図られた。																
成果に係る評価	本市の地域福祉計画（第4期）の基本理念である「いつも自分らしく生きるために、みんなで支え合う地域づくり」の実現に向けて、石巻市社会福祉協議会と連携した取組が必要不可欠であることから、事業を継続する必要がある。 また、今後の補助金のあり方については、石巻市社会福祉協議会が作成を予定している「職員適正化計画」を精査しながら、適正な補助金のあり方について引き続き検討する必要がある。																
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	170,726,000	170,725,517				170,725,517											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち
	1 項	社会福祉費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現
	1 目	社会福祉総務費		( 1 )	地域での孤立防止を推進する
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	地域福祉推進関係費	
実施計画掲載ページ	P 60		事 業 名	地域福祉計画策定事業	
目的及び事業内容	各福祉分野計画の上位計画として、また、次世代型地域包括ケアシステムを推進するとともに、地域福祉に関する関係機関や団体、地域、市民一人ひとりが協働し、地域全体で支え合う地域共生社会の実現を目指し、石巻市地域福祉計画（第4期）を策定した。				
取組実績	1 地域福祉委員会の開催 (1) 第1回石巻市地域福祉委員会（令和3年6月2日） 内容：①石巻市地域福祉計画（第4期）骨子案について ②令和3年度石巻市地域福祉計画（第4期）策定スケジュールについて (2) 第2回石巻市地域福祉委員会（令和3年8月27日） 内容：①石巻市地域福祉計画（第4期）素案構成について (3) 第3回石巻市地域福祉委員会（令和3年10月13日） 内容：①石巻市地域福祉計画（第4期）素案について ②令和3年度石巻市地域福祉計画（第4期）策定スケジュールについて (4) 第4回石巻市地域福祉委員会（令和4年2月3日） 内容：①パブリックコメントの実施結果について ②石巻市地域福祉計画（第4期）（案）について				
成 果	石巻市地域福祉計画（第4期）では各種の課題を踏まえ、自助・互助・共助・公助それぞれが担う役割や方向性を示すとともに各基本目標における取組を指標として設定することで、高齢者福祉計画など保健福祉分野の各種計画と連携した取組を進めるための5年後の目標を示すことができた。				
成果に係る評価	今後は石巻市地域福祉計画（第4期）の進捗管理と課題把握を行いながら、地域福祉委員会において審議し、必要に応じて事業の見直しと改善を図りながら次期計画に繋げていく必要がある。 また、市ホームページ等において、本計画の概要及び目標に対する進捗・達成状況等を周知しながら、地域福祉の大切さや必要性などについて、市民意識の醸成に務めていく必要がある。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	4,233,000	4,030,497	1,500,000		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																								
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																								
	1 目	社会福祉総務費		(1)	地域での孤立防止を推進する																								
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	地域福祉推進関係費																									
実施計画掲載ページ			事 業 名	支え合い活動支援事業																									
目的及び事業内容	復興公営住宅等において継続的な見守りや地域での「顔の見える関係づくり」を進めるため、各種のサロン活動団体が実践する小地域福祉活動を推進し、地域コミュニティの構築を図る。																												
取組実績	<p>1 事業委託</p> <p>(1)委託先 石巻市社会福祉協議会</p> <p>(2)委託内容 交付申請及び実績報告に係る受付、書類審査等</p> <p>(3)委託料 2,283,600円</p> <p>2 サロン活動補助金(年間上限額:30,000円 助成期間:最長4年間)</p> <p>(1)@30,000円×55団体=1,650,000円</p> <p>(2)上限額未満 5団体 73,726円</p> <p>補助金合計 1,723,726円</p> <p>3 コロナ禍における補助金交付要件の緩和</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、活動を自粛する団体が多いことから、コロナ禍におけるサロン活動の継続を支援するため、少人数で年1回以上活動を実施した団体についても補助対象とする等の要件緩和を行った。(※要件緩和開始年度:R2年度)</p> <p>4 事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付団体数</th> <th>補助金額</th> <th>業務委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>111件</td> <td>3,330,000円</td> <td>3,380,400円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>151件</td> <td>4,505,844円</td> <td>3,354,480円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>168件</td> <td>5,011,770円</td> <td>2,857,229円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>96件</td> <td>2,760,101円</td> <td>2,925,407円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>60件</td> <td>1,723,726円</td> <td>2,283,600円</td> </tr> </tbody> </table>						交付団体数	補助金額	業務委託料	H29	111件	3,330,000円	3,380,400円	H30	151件	4,505,844円	3,354,480円	R1	168件	5,011,770円	2,857,229円	R2	96件	2,760,101円	2,925,407円	R3	60件	1,723,726円	2,283,600円
		交付団体数	補助金額	業務委託料																									
H29	111件	3,330,000円	3,380,400円																										
H30	151件	4,505,844円	3,354,480円																										
R1	168件	5,011,770円	2,857,229円																										
R2	96件	2,760,101円	2,925,407円																										
R3	60件	1,723,726円	2,283,600円																										
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動の自粛や規模を縮小する団体があったことから、令和2年度に引き続き、交付要件の緩和を実施したことで、会員同士による見守り活動が行われるなど活動の幅が広がり、閉じこもり防止や互いを気に掛け合う関係性の構築、支え合う意識の醸成が図られた。																												
成果に係る評価	サロン活動を継続することにより、支え合う関係性への発展が見られるとともに、生きがいづくりや気軽に集える場として機能しているため、今後もサロン活動を推進する必要がある。 また、コロナ禍により一度活動を中断したサロン団体が活動を再開するためには、相当な努力を要するため、地域福祉コーディネーターや関係機関と連携し、団体の運営支援に取り組む必要がある。																												
(単位:円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	5,658,000	4,007,326	4,007,326																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち												
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現												
	1 目	社会福祉総務費		(1)	地域での孤立防止を推進する												
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	地域福祉推進関係費													
実施計画掲載ページ	P 60		事 業 名	コミュニティカーシェアリング推進事業													
目的及び事業内容	「コミュニティカーシェアリング」を導入しようとする自治会等に対しカーシェア会の立上げを支援し、地域住民主体による互助活動を推進することで、高齢者等の移動支援策のひとつとして機能するとともに、外出機会の創出や生きがいづくりにつなげ、互いに支え合うことのできる地域づくりを目指す。																
取組実績	<p>1 カーシェア会の立上げ支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>地区</th> <th>設立年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>山下南</td> <td>R1.7.16</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>田道町</td> <td>コロナの影響により中断</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>貞山</td> <td>R4.2.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R1、R2年度は、地域力強化推進事業(健康部包括ケア推進室所管)の一部として実施。</p> <p>2 制度内容の周知</p> <p>市内16地区の民生委員児童委員協議会の区域に各1団体の立上げを目指しており、カーシェア会の未設置地区において、効果的な周知とするため町内会や地域福祉の担い手である民生委員・児童委員を対象に事業内容の周知を図った。</p>					年度	地区	設立年月日	R1	山下南	R1.7.16	R2	田道町	コロナの影響により中断	R3	貞山	R4.2.11
	年度	地区	設立年月日														
R1	山下南	R1.7.16															
R2	田道町	コロナの影響により中断															
R3	貞山	R4.2.11															
成 果	カーシェア会の立上げ支援を実施し、新たに1団体が設立されたことにより、コミュニティカーシェアリングを活用した互助活動に取り組む団体が増加し、地域コミュニティの醸成や高齢者等の移動支援が図られた。 また、高齢者等の移動支援をはじめとした生活課題の把握や解決へ向けた取組みへつなげるため、地域の身近な相談相手であり、地域福祉の担い手として活動する民生委員・児童委員へ事業を周知・啓発を図った。																
成果に係る評価	高齢者等の移動支援や地域における関係性の希薄化等の地域課題に対し、住民主体による互助活動の受皿づくりを支援することで、支え合う意識が醸成され、地域力の向上に繋がっている。 地域共生社会の実現に向けては、本事業を広く市民へ周知し、理解促進に努めるとともに、市内16地区へのカーシェア会設立を目指し、事業の普及啓発を継続する必要がある。																
(単位:円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	1,089,000	1,089,000			1,000,000	89,000											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち				
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現				
	1 目	社会福祉総務費		(1)	地域での孤立防止を推進する				
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	避難行動要支援者支援事業費					
実施計画掲載ページ	P 64		事 業 名	避難行動要支援者支援事業					
目的及び事業内容	自ら避難することが困難な者の避難支援につながる「地域の助け合いの意識」を醸成するため、避難行動要支援者情報を適切に管理、更新するとともに、登録者名簿及び支援計画書を作成し、民生委員や町内会等と情報共有等を図ることによって、避難行動要支援者を支援する体制づくりを推進する。								
取組実績	1 年度別登録者数								
	年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿
	R1	4,030人	2,947人	158人	75人	613人	142人	52人	43人
R2	3,798人	2,784人	143人	74人	573人	129人	54人	41人	
R3	3,667人	2,673人	142人	81人	562人	119人	51人	39人	
※死亡者及び転出者等の登録抹消者数が、新規登録者数を上回るため、要支援者の登録者数は減少傾向									
2 防災ネットワーク登録団体数									
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	
R1	145団体	132団体	0団体	3団体	4団体	1団体	5団体	0団体	
R2	147団体	133団体	0団体	3団体	5団体	1団体	5団体	0団体	
R3	147団体	132団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体	
3 取組内容									
(1) 民生委員児童委員協議会定例会で要支援者に関する意見交換等を行い、民生委員との連携関係を深めた。									
(2) 日常的に民生委員と要支援者に関する情報を共有し、要支援者の新規登録及び情報更新を行った。									
(3) 本市の防災ネットワークとして登録する町内会等へ要支援者に関する情報の共有を図った。 ※新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、町内会等を対象とした避難行動要支援者支援制度の説明会や防災士を対象とした研修会については、開催を見送った。									
成果	民生委員等との要支援者に関する情報共有や意見交換等により、災害時における要支援者を支援する体制づくりの推進及び地域における助け合いの意識の醸成が図られるとともに、災害の状況に応じた要支援者本人の避難意識の向上が図られた。								
成果に係る評価	災害発生直後における行政の要支援者に対する支援には限界があるため、地域が一体となって避難する体制づくりが必要であり、平時から各地域が実施する助け合いの意識を醸成する取組への支援を推進していく必要がある。 また、民生委員等に避難行動要支援者支援制度の内容を再認識いただく取組を行い、第一に自身の安全確保を優先する意識を啓発していく必要がある。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	1,103,000	1,018,516				1,018,516			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現			
	1 目	社会福祉総務費		(3)	各種相談事業を充実させる			
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	包括的支援体制構築事業費				
実施計画掲載ページ	P 55		事 業 名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業				
目的及び事業内容	「福祉まるごと相談窓口」の設置により、複合的な課題を抱える困難ケース等の解消並びに「たらい回し」といった事態が生じないよう、包括的に受け止める総合的な支援体制の構築を図る。							
取組実績	1 「福祉まるごと相談窓口」の実施							
	相談件数：146件（うち継続相談支援件数31件） 相談方法：電話46件、来所97件、訪問（アウトリーチ）3件 相談経路：本人92件、家族・親族18件、社会福祉協議会6件、他 相談内容（延べ）：収入・生活費のこと56件、病気や健康、障害のこと54件、他 継続相談対応回数（延べ）：5,232回（電話3,559回、訪問1,047回、来所376回、その他250回） 最終件数：必要な支援への繋ぎ：53件							
	2 6総合支所に「福祉まるごと相談窓口」を開設 相談件数：4件（うち継続相談支援件数4件） 3 相談支援包括化推進会議 (1) ネットワーク会議：6回 参加者102名 (2) 個別検討会議：15回（随時） 参加者108名							
成果	1 相談者に対する支援 (1) 多機関での協働支援 ・住まいの確保（住宅課、保護課、石巻復興支援ネットワークやつべす等との連携） ・健康面の改善（健康推進課、医療機関等との連携） (2) 断らない相談と伴走支援 ・ひきこもりの方への支援（定期訪問の継続、関係機関と情報共有や顔つなぎ等）							
	2 ネットワークの構築 関係課や民間団体との会議を行い、複合的な相談に対してチームアプローチを行うことの共通認識が図られた。また、民間との情報共有を行い、協力支援が得られた。個別検討会議では、各々の役割分担を行いチームアプローチが進んだ。							
成果に係る評価	庁内関係課との包括的な相談の受け止めやつなぎについては、引き続き横断的な連携が必要であり、他の施策と合わせて取組んでいきたい。 今後も、アウトリーチを継続し、声をあげられない人達に必要な機関へつなげられるよう努めていきたい。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	10,618,674	10,033,594			8,000,000	2,033,594		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	地域での孤立防止を推進する	
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	包括的支援体制構築事業費		
実施計画掲載ページ	P54	事 業 名	地域力強化推進事業			
目的及び事業内容	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図るため、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に地域の生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備を行う。 また、身近な地域で行う見守り等の互助活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動を支援する。					
取組実績	<p>1 地域互助活動促進事業助成金 高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等を対象として、市民主体の団体が身近な地域において行う日常生活上の助け合い活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体かつ持続的な活動の支援を実施した。 交付内訳 ・見守り・声がけ支援 4団体 233,000円（新規2団体） ・送迎支援+見守り・声がけ支援 9団体 1,620,000円</p> <p>2 「地域の支え合いを考える大会」の開催 これまで積み重ねてきた地域活動の意義を再確認するとともにコロナ禍の社会状況にあわせた“地域のつながり”について市民と関係機関であらためて考え、共通認識を図ることを目的に実施した。 開催日 令和3年11月21日 参加者 市民、福祉関係者等 270人 ※社会福祉法人石巻市社会福祉協議会及び石巻市地域包括ケア推進協議会と合同開催</p>					
成 果	<p>1 地域の見守り活動を行う団体が新たに2団体立ち上がり、身近に発生した困りごとに対しても、お互いに声がけをし、問題解決に向けて取り組む体制づくりに寄与することができた。</p> <p>2 「地域の支え合いを考える大会」では、コロナ禍だからこそ、人と人とのつながりを途切れさせることなくつながり続けることの大切さや、地域での支え合いはとても重要であることを参加者間で共有することができた。</p>					
成果に係る評価	地域住民の身近に発生した生活課題を把握し、早急に解決に向けて取組む体制づくりの構築に寄与することができた。今後も次世代型地域包括ケアシステムの推進に向けて、共に支え合う地域づくりの強化について、住民や関係機関と共に積極的な取組を行っていく必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,054,326	1,906,450			1,200,000	706,450

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																																																																																																				
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																																																																																																																																																				
	1 目	社会福祉総務費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																																																																																																																																																																																				
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	地域包括ケア推進事業費																																																																																																																																																																																																					
実施計画掲載ページ	P54	事 業 名	奨学金返還支援事業																																																																																																																																																																																																						
目的及び事業内容	地域包括ケアを推進していく上で必要となる医療・福祉・介護職の人材確保と定住促進を図るため、市が定める資格を有し、市内居住及び市内事業所で就労する者に対し、その者が自ら貸与された奨学金を返還した場合に、年額20万円を上限に最長3年間、助成金を交付する。 ※市が定める資格 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士																																																																																																																																																																																																								
取組実績	<p>1 奨学金返還支援事業助成金の交付</p> <table border="1"> <tr> <td>交付実績</td> <td>区分</td> <td>交付者</td> <td>交付額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>19人</td> <td>2,143,594円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>55人</td> <td>6,712,155円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>74人</td> <td>11,297,029円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>99人</td> <td>13,225,364円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>102人</td> <td>14,037,798円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>97人</td> <td>14,231,953円</td> </tr> </table> <p>・助成金交付者の保有資格内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資格</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>9人</td> <td>21人</td> <td>5人</td> <td>24人</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>9人</td> <td>12人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td></td> <td>0人</td> <td></td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> <td>13人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>21人</td> <td>6人</td> <td>18人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神保健福祉士</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td></td> <td>10人</td> <td></td> <td>5人</td> <td>10人</td> <td>13人</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>19人</td> <td>8人</td> <td>19人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19人</td> <td>36人</td> <td>19人</td> <td>25人</td> <td>49人</td> <td>39人</td> <td>60人</td> <td>31人</td> <td>71人</td> <td>36人</td> <td>61人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業の周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市報、市ホームページ及び日本学生支援機構ホームページに掲載</li> <li>関係団体（石巻市医師会、桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻、県内の教育機関等 39団体）への周知依頼とチラシの設置</li> </ul>					交付実績	区分	交付者	交付額		H28	19人	2,143,594円		H29	55人	6,712,155円		H30	74人	11,297,029円		R1	99人	13,225,364円		R2	102人	14,037,798円		R3	97人	14,231,953円	資格	H28		H29		H30		R1		R2		R3		新規	継続	看護師	12人	15人	11人	9人	21人	5人	24人	7人	16人	9人	12人		保健師	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	助産師		0人		2人	0人	2人	2人	2人	4人	0人	4人		理学療法士	1人	6人	1人	4人	7人	13人	10人	7人	21人	6人	18人		作業療法士	2人	3人	2人	3人	5人	3人	7人	3人	5人	7人	5人		言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	社会福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	2人	0人	3人	1人		介護福祉士	2人	1人	2人	2人	2人	3人	3人	0人	6人	2人	2人		精神保健福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		保育士		10人		5人	10人	13人	11人	10人	19人	8人	19人		合計	19人	36人	19人	25人	49人	39人	60人	31人	71人	36人	61人											
交付実績	区分	交付者	交付額																																																																																																																																																																																																						
	H28	19人	2,143,594円																																																																																																																																																																																																						
	H29	55人	6,712,155円																																																																																																																																																																																																						
	H30	74人	11,297,029円																																																																																																																																																																																																						
	R1	99人	13,225,364円																																																																																																																																																																																																						
	R2	102人	14,037,798円																																																																																																																																																																																																						
	R3	97人	14,231,953円																																																																																																																																																																																																						
資格	H28		H29		H30		R1		R2		R3																																																																																																																																																																																														
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続																																																																																																																																																																																													
看護師	12人	15人	11人	9人	21人	5人	24人	7人	16人	9人	12人																																																																																																																																																																																														
保健師	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																																																																																																													
助産師		0人		2人	0人	2人	2人	2人	4人	0人	4人																																																																																																																																																																																														
理学療法士	1人	6人	1人	4人	7人	13人	10人	7人	21人	6人	18人																																																																																																																																																																																														
作業療法士	2人	3人	2人	3人	5人	3人	7人	3人	5人	7人	5人																																																																																																																																																																																														
言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人																																																																																																																																																																																													
社会福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	2人	0人	3人	1人																																																																																																																																																																																														
介護福祉士	2人	1人	2人	2人	2人	3人	3人	0人	6人	2人	2人																																																																																																																																																																																														
精神保健福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																																																																																																														
保育士		10人		5人	10人	13人	11人	10人	19人	8人	19人																																																																																																																																																																																														
合計	19人	36人	19人	25人	49人	39人	60人	31人	71人	36人	61人																																																																																																																																																																																														
成 果	令和3年度までの新規助成金交付者数は合計186人となり、制度開始時に設定していた「180人の人材確保」の目標を達成し、医療・福祉・介護職の人材を確保することができた。																																																																																																																																																																																																								
成果に係る評価	市内事業所による本制度を活用した採用活動や各関係機関への広報活動により制度の周知が進み、新規申請者数は前年度と比較して増となった。 今後本事業の効果を検証しながら必要に応じて見直しを図るなど、医療と介護を必要とする高齢者等が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、専門職の人材確保に努めていきたい。																																																																																																																																																																																																								
(単位：円)																																																																																																																																																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																																																																			
	15,524,000	14,231,953			13,800,000	431,953																																																																																																																																																																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																					
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																					
	1 目	社会福祉総務費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																					
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	地域包括ケア推進事業費																																						
実施計画掲載ページ	P55		事 業 名	共生型地域包括ケアサービス事業																																						
目的及び事業内容	<p>牡鹿地区において、高齢者のみならず、障がい者や子ども等も対象とした「共生型」の通所サービスを提供し、保健・福祉を必要とする人たちの居場所の確保と見守り等を行いながら、利用者の生活の質の向上、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。</p>																																									
取組実績	<p>1 実施場所 牡鹿保健福祉センター「清優館」</p> <p>2 実施回数 年間52回</p> <p>3 利用登録者数 33人（男7人・女26人）※うち、障がい者は、男6人・女6人</p> <p>4 利用延べ人数 398人（男24人・女374人）</p> <p>5 サービス実施内容  (1) 生活や健康に関する相談・指導等  (2) 健康状態の確認（血圧測定、脈拍測定等）  (3) 日常動作訓練（健康体操、転倒防止体操等）  (4) 教養講座・制作活動・その他レクリエーション等  (5) 利用者の送迎  (6) 昼食サービスほか</p>																																									
成 果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により事業を休止した期間があった昨年度よりも利用実績は増加したものの、利用登録者数は減少した。コロナ禍で参加人数や活動内容を制限しつつ、制作活動やレクリエーション活動等を行い、利用者相互の交流が見られ、心身機能の維持向上等が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="2">利用延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>598人</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>552人</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>55回</td> <td>600人</td> <td>725人</td> <td>120.8%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>40回</td> <td>600人</td> <td>372人</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>52回</td> <td>520人</td> <td>398人</td> <td>76.5%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	実施回数	利用延べ人数		達成率	目標	実績	H28	60回	600人	598人	99.7%	H29	60回	600人	552人	92.0%	H30	60回	600人	543人	90.5%	R1	55回	600人	725人	120.8%	R2	40回	600人	372人	62.0%	R3	52回	520人	398人	76.5%
区分	実施回数	利用延べ人数		達成率																																						
		目標	実績																																							
H28	60回	600人	598人	99.7%																																						
H29	60回	600人	552人	92.0%																																						
H30	60回	600人	543人	90.5%																																						
R1	55回	600人	725人	120.8%																																						
R2	40回	600人	372人	62.0%																																						
R3	52回	520人	398人	76.5%																																						
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、1回あたりの参加人数や活動内容を制限したため、利用延べ人数はコロナ禍以前より少なくなっているが、利用者の生きがいづくりや介護予防等、共生型サービスとして定着してきたことなど、次世代型地域包括ケアの観点で有用な事業であることから、必要な支援を継続するとともに地域住民が主体的に事業を実施していけるように取組むこととしたい。</p>																																									
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	3,564,000	3,564,000			3,564,000																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																												
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																												
	1 目	社会福祉総務費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																												
担当課	保健福祉部 保健福祉総務課		中 事 業	地域包括ケア推進事業費																													
実施計画掲載ページ	P54		事 業 名	買物支援対策事業																													
目的及び事業内容	<p>高齢化や身近な店舗の閉鎖等により買物弱者が多数存在する離島部において、買物支援対策事業を実施する住民団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成することにより、買物困難地域における買物の利便性の向上を図る。</p>																																
取組実績	<p>1 実施事業 離島部において、日常生活に必要な物資の一括購入、買物の場の提供、無料配達等を実施する団体に対し、物資輸送費（船賃）の一部経費を助成金として交付した。</p> <p>2 買物支援対策助成金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>265,530円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>274,600円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>271,310円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>283,210円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>90,000円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	申請件数	交付件数	交付額	H28	1件	1件	265,530円	H29	1件	1件	274,600円	H30	1件	1件	271,310円	R1	1件	1件	283,210円	R2	1件	1件	150,000円	R3	1件	1件	90,000円
区分	申請件数	交付件数	交付額																														
H28	1件	1件	265,530円																														
H29	1件	1件	274,600円																														
H30	1件	1件	271,310円																														
R1	1件	1件	283,210円																														
R2	1件	1件	150,000円																														
R3	1件	1件	90,000円																														
成 果	<p>助成金を交付することで、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支えあい（互助）」の意識醸成と買物困難地域における買物の利便性向上が図られるとともに、会場においては世代間の交流促進も図られた。</p>																																
成果に係る評価	<p>事業対象地区では後継者不足などの課題もある中、地域住民が事業に熱心に取り組んでおり、次世代型地域包括ケアの観点から引き続き離島部の買物困難地域における地域住民の取組を支援するとともに地域の実情を踏まえ、総合的に検討を行っていく必要がある。</p>																																
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	90,000	90,000				90,000																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実
	3 目	障害者福祉費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	障害者福祉費	
実施計画掲載ページ	P66		事 業 名	障害者援護事業	
目的及び事業内容	障害者の自立と更生のため、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付事務等、各種事業を実施し、障害者の援護及び社会参加の促進を図る。				
取組実績	1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 各種手帳の交付状況（所持者数） ※各年度3月31日現在				
		年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳
		R1	5,922人	1,155人	1,024人
		R2	5,794人	1,379人	1,004人
		R3	5,440人	1,288人	1,006人
	2 身体障害者相談員設置事業 身体障害者相談員10名を委嘱 相談件数21件				
	3 在宅障害者等社会参加促進助成券の交付（タクシー券・自動車燃料券） 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加の促進に努めた。 令和3年度実績：交付者数 2,802人、助成総額 39,210,500円				
	4 知的障害者グループホーム体験ステイ事業 令和3年度実績：助成人数 1人 助成総額 18,200円				
	5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業 居宅において酸素濃縮器等の使用に要する電気料について、助成金を交付した。 令和3年度実績：助成人数 107人、助成総額 2,040,000 円				
6 難聴児補聴器助成事業 身体障害者手帳交付対象外の軽中等度難聴児に対し、補聴器の購入・修理費用の一部を助成した。 令和3年度実績：助成件数 9件（交付4件・修理5件） 助成総額 1,122,087円					
7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業 市外の短期入所施設を利用した際の移動に係る燃料費相当額等を助成した。 令和3年度実績：助成件数 7件（利用者 3人） 助成総額 62,900円					
8 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 令和3年度 実績なし					
成 果	各種事業の実施により、障害者の社会参加の促進や自立更生に向けた支援が図られた。				
成果に係る評価	人口減少に伴い、障害者手帳の所持者数においても減少傾向が見られる。本事業においても近年は利用状況は減少傾向ではあるが、本事業の利用により生活支援及び社会参加促進の一助になっていると考えられる。今後も、これらの事業を必要とする方へ必要な情報が届くよう周知徹底を図る必要がある。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	75,062,000	68,428,341	776,000		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実	
	4 目	障害者自立支援費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う	
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	自立支援給付費		
実施計画掲載ページ	P66		事 業 名	障害者自立支援給付事業		
目的及び事業内容	障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。					
取組実績	1 障害福祉サービス給付費					
	(1)介護給付(居宅介護、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援等)					
	(2)訓練等給付(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、グループホーム)					
		分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費
		(1)の内、訪問系	33か所	281人	50,851h	223,430,422円
		(1)及び(2)の内、訪問系以外	260か所	1,532人	322,893日	2,230,774,056円
		相談支援給付費	49か所	1,080人	3,096件	46,374,664円
		特定障害者特別給付費等	82か所	413人	4,269件	43,478,399円
		計				2,544,057,541円
2 補装具給付(身体障害者、障害児に対する補装具給付) 身体障害者及び身体障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理に係る給付を行った。 ・給付件数：294件、給付実績額：29,737,250円						
3 自立支援医療給付(更生医療給付、育成医療給付、療養介護医療給付) 身体障害者及び障害児、精神疾患を有する者に対し、障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給した。また、療養介護入所施設の障害者に対し、療養介護医療費を支給した。						
	医療名称	対象者	公費負担額			
	更生医療	421人	221,113,871円			
	育成医療	10人	627,113円			
	療養介護医療	29人	27,699,631円			
4 医療型短期入所事業空床確保負担金 指定障害福祉サービス事業所(医療型短期入所)である石巻市立病院(H30年1月1日指定)と連携し、空床確保に努めてきたが、新型コロナウイルス感染予防のため病床利用率を低くしている状況から、令和3年度について空床確保の位置付けは停止となった。 ※サービス利用状況：実利用人数2名・延べ36日						
成 果	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者、障害児及び難病等対象者が能力・適性に応じ、自立した生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等に係る給付、その他の支援を行うことにより、福祉の増進が図られた。					
成果に係る評価	障害のある人が、在宅・施設で安定した日常生活を営むために必要な支援を行うことにより、自ら行動する機会の提供に繋がった。 今後も、様々な障害の状況に応じたより効果的なサービスを提供することで、障害者自立支援の質的、量的な充実にも努める必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,909,356,000	2,823,235,406	2,123,600,787		429,070	699,205,549

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	相談・地域生活支援体制を構築する	
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	相談支援事業費		
実施計画掲載ページ	P67		事 業 名	相談支援事業		
目的及び事業内容	障害者支援専門の相談窓口を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供することや、権利擁護のために必要な援助を行う。					
取組実績	1 障害者相談支援事業 障害者等の相談に応じ、情報提供や福祉サービスの利用援助等必要な支援を行った。 相談内容：福祉サービス利用、健康、医療、家計、家族関係、就労 等					
		年度	委託先	相談件数		
		R1	4か所	22,560件		
		R2	4か所	22,348件		
	R3	4か所	23,522件			
2 精神障害者コミュニティサロン運営事業 創作活動、レクリエーション等の各種活動及び専任指導員による生活相談、生活指導を行い、精神障害者の社会復帰や自立に向けた支援を行った。						
	年度	利用決定者数	延利用者数			
	R1	59人	1,832人			
	R2	61人	1,740人			
	R3	58人	1,800人			
3 基幹相談支援センター運営事業 地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として「基幹相談支援センター」を平成26年4月から設置（委託）し、障害者等からの様々な相談に応じるほか、地域の相談支援事業所間の連絡調整、関係機関との連携支援等の業務を行った。						
	年度	人員体制	自立支援協議会・研修会等の開催	相談件数		
	R1	6人	80回	3,551件		
	R2	5人	72回	3,077件		
	R3	5人	72回	3,923件		
成 果	毎月の相談支援事業者を集めた定例会での情報共有や自立支援協議会において事例検討会及び学習会を行うことにより、相談支援専門員の質の向上及び相談支援事業所間の連携が図られている。 また、コミュニティサロンを利用することにより、病気・障害等を理由に閉鎖的な生活を余儀なくされている精神障害者の社会促進の促進が図られている。					
成果に係る評価	相談支援事業は、障害者総合支援法に基づく地域支援事業の必須事業であり、障害のある人が地域で暮らしていくために必要な支援やサービスの提供を適切に受けられるよう、本事業を継続していく必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	113,063,000	108,457,899	29,736,707			78,721,192

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実	
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う	
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	生活支援事業費		
実施計画掲載ページ	P67		事 業 名	日常生活用具給付等事業		
目的及び事業内容	日常生活用具給付事業として、日常生活上の便宜を図るため、重度障害者等（身体、知的、精神障害児者又は難病患者）に対し日常生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費）を給付する。					
取組実績	日常生活用具の給付件数					
		区 分	R1	R2	R3	
		1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)	17件 (6件)	5件 (1件)	6件 (2件)	
		2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具等)	17件 (3件)	14件 (0件)	14件 (2件)	
		3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー等)	41件 (2件)	45件 (3件)	31件 (4件)	
		4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)	67件 (0件)	88件 (1件)	92件 (0件)	
		5 排泄管理支援用具 (ストーマ(蓄便・蓄尿)、紙オムツ等)	3,734件 (220件)	3,830件 (235件)	3,739件 (227件)	
	6 住宅改修	7件 (1件)	1件 (0件)	3件 (0件)		
	計	3,883件 (232件)	3,983件 (240件)	3,885件 (235件)		
※( )内は児童分の再掲						
成 果	日常生活を送るうえで必要な日常生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費等）の給付を行ったことで、重度障害者等の自立の支援が図られた。					
成果に係る評価	日常生活用具給付事業は、障害者総合支援法に基づく地域支援事業の必須事業であることから、重度障害者等の日常生活における自立を支援するとともに、時代の変化やニーズ等を的確に把握しながら、事業を進める必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	45,500,000	39,629,396	18,724,890			20,904,506

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	生活支援事業費																	
実施計画掲載ページ	P70		事 業 名	障害者移動支援事業																	
目的及び事業内容	障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。																				
取組実績	<p>1 個別移動支援 個別に支援が必要な障害者等の外出に対し、ホームヘルパーを派遣し、移動の支援を行った。</p> <p>2 グループ移動支援 複数の障害者等のグループの外出に対し、ヘルパーを派遣し、移動の支援を行った。</p>																				
成 果	<p>外出や社会参加のため、自力での移動が困難な障害者及び障害児の個々のニーズに応じ、必要な移動支援によるサービスを提供できた。また、障害者及び障害児の自立生活への支援が図られたことで、保護者の負担軽減等にも繋がった。</p> <p>&lt;移動支援の実績件数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>提供事業所数</th> <th>サービス実利用人数</th> <th>利用実績（時間数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>15か所</td> <td>147人（0人）</td> <td>5,741時間（0時間）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16か所</td> <td>144人（1人）</td> <td>5,230時間（24時間）</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>15か所</td> <td>137人（1人）</td> <td>4,592時間（16時間）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内は児童分の再掲</p>					年度	提供事業所数	サービス実利用人数	利用実績（時間数）	R1	15か所	147人（0人）	5,741時間（0時間）	R2	16か所	144人（1人）	5,230時間（24時間）	R3	15か所	137人（1人）	4,592時間（16時間）
年度	提供事業所数	サービス実利用人数	利用実績（時間数）																		
R1	15か所	147人（0人）	5,741時間（0時間）																		
R2	16か所	144人（1人）	5,230時間（24時間）																		
R3	15か所	137人（1人）	4,592時間（16時間）																		
成果に係る評価	サービス利用人数・利用時間共に、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる減少が見られた。今後は、社会情勢を見据え、障害者等の地域における自立支援など社会参加を安定的に促進するため、サービス提供体制を十分に確保できるよう努める必要がある。																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	15,288,000	13,047,574	6,164,979			6,882,595															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	生活支援事業費																	
実施計画掲載ページ	P68		事 業 名	地域活動支援センター事業																	
目的及び事業内容	地域活動支援センターの利用給付を行い、地域の実情に応じ、障害者等の通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流を促進することにより障害者等の自立の促進と社会参加の促進を図る。																				
取組実績	<p>1 基礎的事業 通所による創作的活動、生産活動及び社会との交流機会を提供した。</p> <p>2 機能強化事業 地域において、雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練や社会適応訓練などを実施した。</p> <p>3 送迎支援 自宅から事業所までの送迎に係る支援を実施した。</p>																				
成 果	<p>障害者の日中活動の場として、創作活動や生産活動等を通じ、地域社会との交流が図られ、障害者の自立と社会参加を促進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>サービス提供事業所数</th> <th>実利用者数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>7か所</td> <td>41人</td> <td>396人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6か所</td> <td>44人</td> <td>362人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>5か所</td> <td>29人</td> <td>290人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	サービス提供事業所数	実利用者数	延利用者数	R1	7か所	41人	396人	R2	6か所	44人	362人	R3	5か所	29人	290人
年度	サービス提供事業所数	実利用者数	延利用者数																		
R1	7か所	41人	396人																		
R2	6か所	44人	362人																		
R3	5か所	29人	290人																		
成果に係る評価	<p>実利用人数の減少と共に、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる延利用人数の減少が見られた。</p> <p>平常時から、障害の状況により、就労支援等のサービスの利用が困難な利用者も存在しており、社会参加の機会を確保するため今後も事業を継続する必要がある。</p>																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	30,741,000	20,402,280	3,696,726			16,705,554															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実	
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う	
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	生活支援事業費		
実施計画掲載ページ	P68		事 業 名	生活支援事業		
目的及び事業内容	地域の实情に沿った内容で、障害者が地域社会で自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な訪問入浴サービス事業や日中一時支援事業等を推進し、障害者福祉の向上を図る。					
取組実績	1 声の市報発行…情報入手困難な視覚障害者に音声版（CD）の市報を配付した。 R3年度利用者：26人、委託額等：823,044円（委託先：石巻コミュニティ放送株式会社）					
	2 社会参加促進事業補助… 障害者の社会参加活動を実施する団体に対し、補助金を交付した。					
		年度	補助件数	補助団体数	補助額	
		R1	7件	5団体	384,990円	
		R2	0件	0団体	0円	
		R3	1件	1団体	39,870円	
3 障害者運転免許取得費・自動車改造費助成金… 費用の一部を助成した。						
	年度	助成件数（免許）	助成件数（改造）	助成額		
	R1	4件	4件	754,666円		
	R2	2件	3件	459,466円		
	R3	4件	5件	790,492円		
4 訪問入浴サービス事業… 訪問入浴に係る費用について給付を行った。						
	年度	実利用者数	利用回数	給付額		
	R1	27人	1,847回	22,988,400円		
	R2	28人	2,025回	25,086,800円		
	R3	29人	1,868回	21,123,670円		
5 日中一時支援事業… 日中の一時預かりに係る費用について給付を行った。						
	年度	実利用者数	利用回数	給付額		
	R1	173人	8,613回	32,338,342円		
	R2	173人	8,000回	34,660,507円		
	R3	164人	7,772回	30,525,341円		
成 果	障害者が地域生活支援事業の各種サービスを利用することにより、日常生活の支援、障害者家族等の介護負担の軽減、社会参加の促進等が図られた。					
成果に係る評価	障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むための必要な事業であり、今後も障害者本人や家族のニーズに応じた適切な給付を行う必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	64,129,000	53,302,417	24,977,384			28,325,033

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実	
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う	
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	理解促進研修啓発・自発的活動推進事業費		
実施計画掲載ページ	P69		事 業 名	理解促進研修啓発・自発的活動推進事業		
目的及び事業内容	障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、地域住民に対して、障害者等の理解を深めるための研修・啓発事業を行う。 また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者や地域住民等による地域における自発的な取組み（ピアサポート、災害対策、孤立防止活動、ボランティア活動等）を支援する。					
取組実績	1 理解促進啓発研修事業					
		内 容	日 程	対象者	参加人数	
		出前講座「ワンポイント手話講座」	6/28	コープ委員会	12人	
		出前講座「地域共生社会に向けて」	8/26	老人クラブ	13人	
		虐待防止及び障害者理解促進講演会 「一歩を楽しみ笑顔で暮らせる石巻へ～盲導犬トラヴィスと共に」	12/21	市民、事業所等	165人	
		障害者就労施設等販売会の開催（市役所1F） 毎週水曜日	4月～3月	市民		
	障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「ポッチャ体験」等	12/3～5	市民			
	「きらりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援	11/30～12/10	市民			
	障害者週間普及啓発 障害者週間、ヘルプマークの周知（市報掲載、市役所庁内放送）	12/3～9	市民、職員			
2 自発的活動推進事業 障害者等の自発的活動を行う団体等に対し、補助金を交付した。						
成 果	講演会や広報、啓発活動の取り組み及び自発的活動を行う団体を支援することにより、障害に関する理解や障害のある人を地域で支え合う市民意識の醸成及び障害者の社会参加促進に寄与した。					
	1 理解促進啓発研修事業					
			R1	R2	R3	
	講演会等開催や広報活動等の啓発活動の回数	4回	4回	7回		
2 自発的活動推進事業						
		R1	R2	R3		
	補助金交付件数	5件	4件	4件		
	補助金交付金額	149,912円	102,760円	120,000円		
成果に係る評価	市民一人ひとりが障害に関する理解が深まるよう継続して研修会等を開催するとともに、各種イベント開催や様々な機会を捉えて啓発活動に取り組んでいく必要がある。 また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者やその家族、地域住民等における自発的な取組を支援することにより、共生社会の実現を目指すため本事業の継続が必要である。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	416,000	222,027	103,413			118,614

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																							
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																																							
	6 目	特別障害者手当等措置費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																																							
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	特別障害者手当等措置費																																								
実施計画掲載ページ	P68		事 業 名	特別障害者手当等措置事業																																								
目的及び事業内容	特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当及び障害児福祉手当を支給することにより、福祉の増進を図る。																																											
取組実績	<p>1 特別障害者手当 20歳以上で著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。</p> <p>2 障害児福祉手当 20歳未満で重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。</p> <p>3 手当制度の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ、市報への掲載</li> <li>・手帳交付時及び各種障害福祉サービス等の更新時において、重度の障害者については、制度の説明を行い、申請を促した。</li> <li>・石巻市ケアマネジャー説明会において、制度説明を行った。</li> </ul>																																											
成 果	<p>手当を支給することで、在宅で生活している重度障害者等への生活支援の一助として、経済的支援を図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特別障害者手当</td> <td>支給額</td> <td>43,099,060円</td> <td>43,937,550円</td> <td>45,701,850円</td> </tr> <tr> <td>受給者数</td> <td>139人</td> <td>138人</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>27,200円</td> <td>27,350円</td> <td>27,350円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">障害児福祉手当</td> <td>支給額</td> <td>11,414,750円</td> <td>11,565,030円</td> <td>9,954,720円</td> </tr> <tr> <td>受給者数</td> <td>65人</td> <td>58人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>14,790円</td> <td>14,880円</td> <td>14,880円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>支給額</td> <td>54,513,810円</td> <td>55,502,580円</td> <td>55,656,570円</td> </tr> <tr> <td>受給者数</td> <td>204人</td> <td>196人</td> <td>188人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受給者数は各年度末時点の人数 ※支給月：2月・5月・8月・11月</p>					区 分	R1	R2	R3	特別障害者手当	支給額	43,099,060円	43,937,550円	45,701,850円	受給者数	139人	138人	136人	手当月額	27,200円	27,350円	27,350円	障害児福祉手当	支給額	11,414,750円	11,565,030円	9,954,720円	受給者数	65人	58人	52人	手当月額	14,790円	14,880円	14,880円	合 計	支給額	54,513,810円	55,502,580円	55,656,570円	受給者数	204人	196人	188人
	区 分	R1	R2	R3																																								
特別障害者手当	支給額	43,099,060円	43,937,550円	45,701,850円																																								
	受給者数	139人	138人	136人																																								
	手当月額	27,200円	27,350円	27,350円																																								
障害児福祉手当	支給額	11,414,750円	11,565,030円	9,954,720円																																								
	受給者数	65人	58人	52人																																								
	手当月額	14,790円	14,880円	14,880円																																								
合 計	支給額	54,513,810円	55,502,580円	55,656,570円																																								
	受給者数	204人	196人	188人																																								
成果に係る評価	精神又は身体に著しく障害があるため日常生活において常時特別の介護を必要とする者が、在宅生活を維持するために特に必要とされる負担の軽減を図るため、今後も継続する必要がある。																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																											
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
55,914,000	55,656,570	41,928,847			13,727,723																																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																			
	1 項	社会福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																																																																			
	7 目	心身障害者医療助成費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																																																																			
担当課	保健福祉部障害福祉課		中 事 業	心身障害者医療助成費																																																																				
実施計画掲載ページ	P69		事 業 名	心身障害者医療対策事業																																																																				
目的及び事業内容	重・中度心身障害者の医療費を助成することにより、重・中度心身障害者の生活の安定を図る。助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち医療保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、上記一部負担金の95%の額を助成する。																																																																							
取組実績	<p>重・中度心身障害者医療助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者の医療費の一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">受給者数</td> <td>重度心身障害者</td> <td>3,145人</td> <td>3,108人</td> <td>3,033人</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td>57人</td> <td>62人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,202人</td> <td>3,170人</td> <td>3,085人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">対象者数</td> <td>重度心身障害者</td> <td>3,318人</td> <td>3,298人</td> <td>3,213人</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td>141人</td> <td>155人</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,459人</td> <td>3,453人</td> <td>3,356人</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">種別</td> <td rowspan="3">重度</td> <td>身体障害 1級</td> <td>1,905人</td> <td>1,881人</td> <td>1,811人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 2級</td> <td>645人</td> <td>625人</td> <td>615人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 3級</td> <td>253人</td> <td>267人</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中度</td> <td>療育A</td> <td>420人</td> <td>419人</td> <td>416人</td> </tr> <tr> <td>特別児童 1級</td> <td>9人</td> <td>7人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>精神障害 1級</td> <td>86人</td> <td>99人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>特別児童 2級</td> <td>141人</td> <td>155人</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">助成額</td> <td>313,732,007円</td> <td>311,247,100円</td> <td>295,783,336円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年10月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者が適用</p>							R1	R2	R3	受給者数	重度心身障害者	3,145人	3,108人	3,033人	中度心身障害者	57人	62人	52人	計	3,202人	3,170人	3,085人	対象者数	重度心身障害者	3,318人	3,298人	3,213人	中度心身障害者	141人	155人	143人	計	3,459人	3,453人	3,356人	種別	重度	身体障害 1級	1,905人	1,881人	1,811人	身体障害 2級	645人	625人	615人	身体障害 3級	253人	267人	265人	中度	療育A	420人	419人	416人	特別児童 1級	9人	7人	10人	精神障害 1級	86人	99人	96人	特別児童 2級	141人	155人	143人	助成額		313,732,007円	311,247,100円	295,783,336円
			R1	R2	R3																																																																			
受給者数	重度心身障害者	3,145人	3,108人	3,033人																																																																				
	中度心身障害者	57人	62人	52人																																																																				
	計	3,202人	3,170人	3,085人																																																																				
対象者数	重度心身障害者	3,318人	3,298人	3,213人																																																																				
	中度心身障害者	141人	155人	143人																																																																				
	計	3,459人	3,453人	3,356人																																																																				
種別	重度	身体障害 1級	1,905人	1,881人	1,811人																																																																			
		身体障害 2級	645人	625人	615人																																																																			
		身体障害 3級	253人	267人	265人																																																																			
	中度	療育A	420人	419人	416人																																																																			
		特別児童 1級	9人	7人	10人																																																																			
		精神障害 1級	86人	99人	96人																																																																			
		特別児童 2級	141人	155人	143人																																																																			
助成額		313,732,007円	311,247,100円	295,783,336円																																																																				
成 果	<p>重度心身障害者及び中度心身障害者に対し、医療費の負担軽減を行うことにより必要な医療の提供が可能となり障害者福祉の増進が図られた。</p>																																																																							
成果に係る評価	重度障害者等が安心して必要な医療を受けられるよう、今後も継続して事業を実施する必要がある。																																																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																																																							
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
314,000,000	295,783,336	144,824,000		4,358,216	146,601,120																																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																												
	1 項	社会福祉費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																																												
	8 目	子ども医療対策費		( 2 )	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																																																												
担当課	保健福祉部保険年金課		中 事 業	子ども医療対策費																																																																																																													
実施計画掲載ページ	P50		事 業 名	子ども医療費助成事業																																																																																																													
目的及び事業内容	子どもに対する適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、出生から中学3年生までの入院・通院に係る医療費の一部負担金を助成する。																																																																																																																
取組実績	<p>・出生から中学3年生までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>・医療費助成を受けるためには受給資格登録が必要であるため、市報、ホームページ及び各種子育て情報誌（子育てハンドブック等）による周知並びに未申請者に対し申請案内を年2回送付し申請促進を図った。</p> <p>【受給者内訳】 (令和4年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>15,267人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受給者数</td> <td>県補助対象</td> <td>4,765人 31.21%</td> </tr> <tr> <td>独自拡大対象</td> <td>10,429人 68.31%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,194人 99.52%</td> </tr> <tr> <td>未申請者数</td> <td>73人</td> <td>0.48%</td> </tr> </tbody> </table>					項目	人数	割合	対象者数	15,267人	-	受給者数	県補助対象	4,765人 31.21%	独自拡大対象	10,429人 68.31%	計	15,194人 99.52%	未申請者数	73人	0.48%																																																																																												
項目	人数	割合																																																																																																															
対象者数	15,267人	-																																																																																																															
受給者数	県補助対象	4,765人 31.21%																																																																																																															
	独自拡大対象	10,429人 68.31%																																																																																																															
	計	15,194人 99.52%																																																																																																															
未申請者数	73人	0.48%																																																																																																															
成 果	<p>子育て世代の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【一部負担金の助成状況】 (助成額の単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">受給者数</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大対象</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>国保</td> <td>2,411人</td> <td>13,552</td> <td>20,680,666</td> <td>17,974</td> <td>36,729,354</td> <td>31,526</td> <td>57,410,020</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,753人</td> <td>96,175</td> <td>149,729,024</td> <td>129,685</td> <td>259,030,022</td> <td>225,860</td> <td>408,759,046</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,164人</td> <td>109,727</td> <td>170,409,690</td> <td>147,659</td> <td>295,759,376</td> <td>257,386</td> <td>466,169,066</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>国保</td> <td>2,248人</td> <td>8,719</td> <td>13,837,022</td> <td>13,583</td> <td>30,317,641</td> <td>22,302</td> <td>44,154,663</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,382人</td> <td>66,917</td> <td>102,665,571</td> <td>97,593</td> <td>202,733,553</td> <td>164,510</td> <td>305,399,124</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,630人</td> <td>75,636</td> <td>116,502,593</td> <td>111,176</td> <td>233,051,194</td> <td>186,812</td> <td>349,553,787</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>国保</td> <td>2,085人</td> <td>9,222</td> <td>16,538,573</td> <td>14,121</td> <td>29,230,142</td> <td>23,343</td> <td>45,768,715</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,109人</td> <td>73,158</td> <td>129,094,338</td> <td>104,725</td> <td>218,654,469</td> <td>177,883</td> <td>347,748,807</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,194人</td> <td>82,380</td> <td>145,632,911</td> <td>118,846</td> <td>247,884,611</td> <td>201,226</td> <td>393,517,522</td> </tr> </tbody> </table> <p>【未申請者割合】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>0.00%</td> <td>0.55%</td> <td>99.45%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0.00%</td> <td>0.51%</td> <td>99.49%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0.00%</td> <td>0.48%</td> <td>99.52%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計		件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額	R1	国保	2,411人	13,552	20,680,666	17,974	36,729,354	31,526	57,410,020	社保	13,753人	96,175	149,729,024	129,685	259,030,022	225,860	408,759,046	計	16,164人	109,727	170,409,690	147,659	295,759,376	257,386	466,169,066	R2	国保	2,248人	8,719	13,837,022	13,583	30,317,641	22,302	44,154,663	社保	13,382人	66,917	102,665,571	97,593	202,733,553	164,510	305,399,124	計	15,630人	75,636	116,502,593	111,176	233,051,194	186,812	349,553,787	R3	国保	2,085人	9,222	16,538,573	14,121	29,230,142	23,343	45,768,715	社保	13,109人	73,158	129,094,338	104,725	218,654,469	177,883	347,748,807	計	15,194人	82,380	145,632,911	118,846	247,884,611	201,226	393,517,522	区分	成果指標		達成率	目標	実績	R1	0.00%	0.55%	99.45%	R2	0.00%	0.51%	99.49%	R3	0.00%	0.48%	99.52%
年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象				計																																																																																																								
			件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額																																																																																																									
R1	国保	2,411人	13,552	20,680,666	17,974	36,729,354	31,526	57,410,020																																																																																																									
	社保	13,753人	96,175	149,729,024	129,685	259,030,022	225,860	408,759,046																																																																																																									
	計	16,164人	109,727	170,409,690	147,659	295,759,376	257,386	466,169,066																																																																																																									
R2	国保	2,248人	8,719	13,837,022	13,583	30,317,641	22,302	44,154,663																																																																																																									
	社保	13,382人	66,917	102,665,571	97,593	202,733,553	164,510	305,399,124																																																																																																									
	計	15,630人	75,636	116,502,593	111,176	233,051,194	186,812	349,553,787																																																																																																									
R3	国保	2,085人	9,222	16,538,573	14,121	29,230,142	23,343	45,768,715																																																																																																									
	社保	13,109人	73,158	129,094,338	104,725	218,654,469	177,883	347,748,807																																																																																																									
	計	15,194人	82,380	145,632,911	118,846	247,884,611	201,226	393,517,522																																																																																																									
区分	成果指標		達成率																																																																																																														
	目標	実績																																																																																																															
R1	0.00%	0.55%	99.45%																																																																																																														
R2	0.00%	0.51%	99.49%																																																																																																														
R3	0.00%	0.48%	99.52%																																																																																																														
成果に係る評価	一部負担金の助成状況は、助成件数、助成額ともに前年度から増加し、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控え等の影響が解消しつつあると推測される。令和4年度から対象を18歳到達年度末日まで拡大し、子育てしやすい環境の更なる整備を推進することとしており、今後も子どもの適正な医療機会の確保並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続する必要がある。																																																																																																																
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																											
	427,189,000	405,855,299	138,612,000			267,243,299																																																																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	1 項	社会福祉費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																									
	11 目	市民相談センター費		( 2 )	青少年の健全な成長を支援する																									
担当課	保健福祉部 総合相談センター		中 事 業	少年センター運営費																										
実施計画掲載ページ	P80		事 業 名	青少年健全育成事業																										
目的及び事業内容	少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、少年の健全な育成を図る。																													
取組実績	<p>1 少年補導員による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による毎月の街頭補導、県下一斉街頭指導等を実施した。街頭補導活動においては、少年補導員147名により、少年非行の早期発見、未然防止及び少年の健全育成を目的に、遊技場、駅、公園などを中心に実施した。</p> <p>2 少年相談 引きこもりや教育問題に悩む親等からの相談に対応した。</p> <p>3 地域における不審者対策ネットワークの推進 ネットワークの会員と地域の団体等が、年4回ほど児童の下校時に行き、市内全小学校の通学路のパトロールを実施した。また、不審者情報を市ホームページに適宜掲載し注意喚起を行った。</p> <p>4 地域における青少年健全育成の推進 地域で青少年健全育成活動を実施する団体で構成する市民会議による、市民総ぐるみの積極的な地域活動の推進のための支援を行った。</p>																													
成 果	<p>学校や地域等の関係機関との有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p>&lt;街頭補導実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th rowspan="2">出勤延人数</th> <th rowspan="2">声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>483回</td> <td>1,280人</td> <td>429件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>401回</td> <td>1,078人</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>433回</td> <td>1,177人</td> <td>313件</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;少年相談実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>8件</td> <td>14件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数	R1	483回	1,280人	429件	R2	401回	1,078人	186件	R3	433回	1,177人	313件	年度	R1	R2	R3	件数	8件	14件	9件
年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数																										
					R1	483回	1,280人	429件																						
R2	401回	1,078人	186件																											
R3	433回	1,177人	313件																											
年度	R1	R2	R3																											
件数	8件	14件	9件																											
成果に係る評価	<p>街頭指導については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、前年度未実施であった情報交換会等を再開したことにより、実施回数が増加した。また、巡回や「愛の一声」（挨拶、気軽な会話、安全指導等）活動の推進により、子どもたちに対する健全育成、事故防止、不審者抑止の対策が図られた。</p> <p>少年センターにおける少年相談については、年々減少傾向にあり、これはスクールソーシャルワーカー等、他の相談機関が増えたことが要因であると考えられるが、今後少年センターにおける事業等の見直しを含めて検討していく必要がある。</p>																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	7,534,000	6,445,172	300,000			6,145,172																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																												
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																												
	11 目	市民相談センター費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																												
担当課	保健福祉部 総合相談センター		中 事 業	市民相談センター事業費																																																													
実施計画 掲載ページ	P80		事 業 名	市民相談事業（家庭児童相談・市民相談）																																																													
目的及び事業内容	子育てなどの家庭児童・母子相談をはじめ、市民生活全般にわたる相談など、複雑多様な相談を一つの窓口で受理し、適切な支援に繋げることで市民生活の利便性と福祉の向上を図る。 また、専門的事業の支援として、仙台弁護士会への委託による定期的な無料法律相談を実施している。																																																																
取組実績	1 市民相談 市民相談担当職員1人を配置し、市民生活全般の相談等を実施した。 2 家庭児童相談 家庭児童相談員1人を配置し、以下の相談等を実施した。 ・家庭児童相談 ・女性相談 ・養育支援訪問利用相談 ・障害児通所サービス利用に係る相談 ・助産施設利用相談 ・母子生活支援施設利用相談など 3 弁護士による無料法律相談 年24回実施（毎月2回、第2・第4火曜日）																																																																
成果	相談者の福祉向上を図るため、各種相談に対して適切な助言及び援助を行った。 また、無料法律相談を実施することにより、専門的事業の早期解決の一助を担った。																																																																
	1 市民相談実績																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産</th> <th>離婚</th> <th>親族家族問題</th> <th>法律</th> <th>近隣問題</th> <th>窓口紹介</th> <th>生活困窮</th> <th>健康</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>67</td> <td>5</td> <td>74</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>97</td> <td>106</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>77</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>44</td> <td>3</td> <td>43</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>10</td> <td>86</td> <td>87</td> <td>35</td> <td>8</td> <td>137</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>63</td> <td>2</td> <td>69</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>8</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>34</td> <td>4</td> <td>181</td> <td>537</td> </tr> </tbody> </table>					年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計	R1		67	5	74	22	16	27	4	97	106	30	5	77	530	R2		44	3	43	9	7	45	10	86	87	35	8	137	514	R3		63	2	69	7	7	45	8	59	58	34	4	181	537
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計																																																			
R1		67	5	74	22	16	27	4	97	106	30	5	77	530																																																			
R2		44	3	43	9	7	45	10	86	87	35	8	137	514																																																			
R3		63	2	69	7	7	45	8	59	58	34	4	181	537																																																			
	2 家庭児童相談実績																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">家庭児童相談関係</th> <th colspan="3">母子相談関係</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>家族関係</th> <th>児童その他</th> <th>離婚</th> <th>婦人特有</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>73</td> <td>38</td> <td>26</td> <td>88</td> <td>19</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>48</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>43</td> <td>16</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>31</td> <td>248</td> </tr> </tbody> </table>					年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計	家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他	R1		73	38	26	88	19	244	R2		48	30	44	80	30	232	R3		43	16	80	78	31	248																							
年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係				合計																																																									
		家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他																																																											
R1		73	38	26	88	19	244																																																										
R2		48	30	44	80	30	232																																																										
R3		43	16	80	78	31	248																																																										
	3 無料法律相談実績																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>回数</th> <th>金銭貸借</th> <th>不動産</th> <th>相続</th> <th>離婚</th> <th>親族</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>24</td> <td>65</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>15</td> <td>28</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>24</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>42</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>53</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>24</td> <td>49</td> <td>28</td> <td>46</td> <td>33</td> <td>11</td> <td>48</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table>					年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計	R1		24	65	29	25	35	15	28	197	R2		24	49	30	42	27	11	53	212	R3		24	49	28	46	33	11	48	215																				
年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計																																																								
R1		24	65	29	25	35	15	28	197																																																								
R2		24	49	30	42	27	11	53	212																																																								
R3		24	49	28	46	33	11	48	215																																																								
成果に係る評価	市民相談の件数については、ここ数年横ばい状況にあるが、内容は単一の相談にとどまらず様々な要因が重なった相談が増えている。この状況は、家庭児童相談についても同様であり、複雑化・多様化する相談に対して継続的に関わり解決した事例が多い。また、専門的知識を要する相談については、弁護士による無料法律相談を案内しているが、毎月予定数に達している状況である。 今後も関係機関・団体と連携し、市民が抱える問題解決に向けて必要な支援を行っていく必要がある。																																																																
予算の執行状況	(単位：円)																																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	3,635,000	3,601,803				3,601,803																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																				
	1 項	社会福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																				
	12 目	権利擁護推進費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																				
担当課	保健福祉部 総合相談センター		中 事 業	要保護児童対策事業費																																																																					
実施計画 掲載ページ	P81		事 業 名	要保護児童対策事業																																																																					
目的及び事業内容	要保護児童対策地域協議会の支援の対象者は、要保護児童（保護者に監護させることが不相当であると認められる児童等）、要支援児童（保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童等）、特定妊婦（出産後の養育について出産前において特に支援が必要とされる妊婦）であり、要保護児童等に対する適切な支援を行うために情報交換を行いながら、それぞれのケースに対応した支援を協議し速やかに対応する。また、児童虐待防止講演会等の開催やリーフレットの作成・配布などの啓発を通して虐待に対する認識を深める。																																																																								
取組実績	1 石巻市要保護児童対策地域協議会 (1) 代表者会議の開催 1回 各分野の関係機関等の代表者19名で構成され、要保護児童等の現状と支援に関する全体把握等について情報交換を行った。 (2) 実務者会議の開催（進行管理ケース数：市322人、児相617人 合計939人） ア 全体実務者会議 2回 要保護児童等の実態把握や協議会の事業計画等について協議・検討した。 イ ブロック別実務者会議 12回（4ブロック×3回） 進行管理している各ケースの情報共有と今後の支援策について確認した。 (3) 個別ケース検討会議（カンファレンスを含む） 92回 各ケースの状況把握と問題点の確認を行い、支援の役割分担等について協議した。 2 児童虐待防止啓発事業 (1) 児童虐待防止講演会 障害福祉課との共催により、児童虐待防止と障害者に関する理解の促進を図ることができた。 日時：令和3年12月21日（水） 場所：マルホンまきあーとテラス 参加者：174人 (2) リーフレットを市内小学校1年生（保護者向け）及び各関係部署に配布 3 専門カウンセリング事業 保護者やDV被害者の心理的ケアや支援を行うため、心理カウンセラー等によるカウンセリングを実施した。 34回開催 実利用者18人 延べ利用者53人																																																																								
成果	関係機関との連携により、児童虐待ケースの重症化防止と要保護児童等の安全確保が図られた。																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="3">新規（再起含む）</th> <th colspan="3">前年度からの継続</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="3">最終ケース（再掲）</th> </tr> <tr> <th>市</th> <th>児相</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>106</td> <td>473</td> <td>579</td> <td>81</td> <td>144</td> <td>225</td> <td>187</td> <td>617</td> <td>804</td> <td>86</td> <td>453</td> <td>539</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>110</td> <td>483</td> <td>593</td> <td>103</td> <td>145</td> <td>248</td> <td>213</td> <td>628</td> <td>841</td> <td>62</td> <td>483</td> <td>545</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>111</td> <td>437</td> <td>548</td> <td>211</td> <td>180</td> <td>391</td> <td>322</td> <td>617</td> <td>939</td> <td>203</td> <td>262</td> <td>465</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分		新規（再起含む）			前年度からの継続			合計			最終ケース（再掲）			市	児相	市	児相	計	R1	106	473	579	81	144	225	187	617	804	86	453	539	R2	110	483	593	103	145	248	213	628	841	62	483	545	R3	111	437	548	211	180	391	322	617	939	203	262	465									
年度	区分		新規（再起含む）				前年度からの継続			合計			最終ケース（再掲）																																																												
	市	児相	市	児相	計		市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計																																																										
	R1	106	473	579	81	144	225	187	617	804	86	453	539																																																												
R2	110	483	593	103	145	248	213	628	841	62	483	545																																																													
R3	111	437	548	211	180	391	322	617	939	203	262	465																																																													
成果に係る評価	本市における要保護対象児童等の対応件数は年々増加傾向にあり、児童虐待に対する社会的関心の高まりにより通報数が増加したこと等が要因と考えられる。相談を受けた案件の多くは複雑化しており、対応が多分野に渡るため困難さが増えていることから、各関係機関等との緊密な連携のもと、要保護児童等の早期発見やケースに応じた適切な支援に努めた。 また、児童虐待の未然防止に向けた啓発事業を実施し、市民への周知及び理解の促進が図られたほか、専門カウンセリング事業により、心理的ケアが図られた。今後も子ども達を虐待から守るための体制強化及び支援の充実に努めていくことが重要である。																																																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
	3,087,203	2,864,058	1,169,000			1,695,058																																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																													
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																													
	12 目	権利擁護推進費		(4)	各種虐待防止・DV被害者支援を強化する																																																																													
担当課	保健福祉部 総合相談センター		中 事 業	虐待防止センター事業費																																																																														
実施計画掲載ページ	P82		事 業 名	虐待防止センター事業																																																																														
目的及び事業内容	<p>高齢者虐待や障害者虐待、ドメスティックバイオレンス（DV）は尊厳を著しく侵し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、虐待等の未然防止や重症化を防ぐための体制整備を行い、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して暮らせることを目的とする。</p> <p>また、事業の複雑化・重症化に伴い、専門的見地からの支援が必要となるケースが増加してきたことから、虐待対応への専門的知識と技術を持つ専門職を配置し、体制を整備するとともに、虐待に対する理解促進と未然防止のための啓発事業の実施のほか、重症化防止及び権利擁護のため支援事業を行う。</p>																																																																																	
取組実績	<p>虐待を受けた高齢者・障害者及びDV被害者の保護並びに自立支援と養護者に対する支援措置等を実施して重症化の防止を図るとともに、虐待防止の啓発に取り組んだ。</p> <p>1 高齢者虐待防止事業  (1) 老人特例保護措置⇒ 令和3年度利用人数 4人（延べ475日利用）  (2) 緊急一時保護事業（家庭内暴力防止支援事業）⇒ 令和3年度利用人数 2人（延べ44日利用）  (3) 高齢者権利擁護委託事業：権利擁護支援のため弁護士相談委託</p> <p>2 障害者虐待防止事業  (1) 障害者虐待家庭訪問個別支援事業⇒ 令和3年度利用人数 1人 2回（11時間利用）  (2) 緊急一時保護事業⇒ 令和3年度利用人数 2人（延べ36日利用）</p> <p>3 DV被害者支援事業  (1) DV被害者支援施策  ア 緊急一時保護⇒ 令和3年度実績 1件  イ 母子生活支援施設入所措置⇒ 1世帯2名利用中（令和4年3月31日現在）  ウ 保護命令申請同行支援事務  エ 住民基本台帳事務における支援措置（住民票、戸籍附票の閲覧制限）  (2) 専門カウンセリング及び弁護士相談による助言  (3) 配偶者暴力相談支援センター事業⇒ 相談対応延べ61人（延べ134件対応）、証明書発行5人 9件</p> <p>4 虐待・DV防止の啓発事業  (1) パンフレットの作成 3種（障害者・高齢者虐待、DV） 2,400部  (2) ラジオ石巻による放送 週2回（火・木）</p>																																																																																	
成 果	<p>高齢者・障害者等の虐待及びDVの未然防止対策や早期発見のため、研修会・啓発講演等を実施するとともに、要援護者・被害者等に対し迅速で適切な支援を実施した。</p> <p>1 各種虐待の新規相談実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">虐待種別</th> <th colspan="3">R1</th> <th colspan="3">R2</th> <th colspan="3">R3</th> <th colspan="3">R4</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>75</td> <td>77</td> <td>75</td> <td>73</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>DV・女性相談</td> <td>35</td> <td>57</td> <td>37</td> <td>23</td> <td>43</td> <td>26</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>125</td> <td>155</td> <td>126</td> <td>108</td> <td>125</td> <td>108</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					虐待種別	R1			R2			R3			R4			R1	R2	R3	高齢者	75	77	75	73	64	68	2	2	3	2	2	2	障害者	15	21	14	12	18	14	0	2	2	0	0	1	DV・女性相談	35	57	37	23	43	26	1	2	1	0	1	0	合 計	125	155	126	108	125	108	3	6	6	2	3	3									
虐待種別	R1			R2			R3			R4																																																																								
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3																																																																						
高齢者	75	77	75	73	64	68	2	2	3	2	2	2																																																																						
障害者	15	21	14	12	18	14	0	2	2	0	0	1																																																																						
DV・女性相談	35	57	37	23	43	26	1	2	1	0	1	0																																																																						
合 計	125	155	126	108	125	108	3	6	6	2	3	3																																																																						
成果に係る評価	<p>本市における高齢者虐待、障害者虐待の相談件数は横ばい状況にあるものの、相談を受けた案件の多くが複雑化していることから、地域包括支援センター等の各関係機関と連携し困難事例に対応した。DV・女性相談についても、案件が複雑化・深刻化している状況であり、被害者等の心身の回復と安全確保を最優先とし、弁護士やカウンセラー等による相談事業のほか、配偶者暴力相談支援センターにおける証明書発行や保護命令関係業務を実施するなど、自立に向けた適切な支援を行うことができた。なお、虐待等への対応については、精神保健福祉士、虐待防止専門官（警察OB）や教員OB等を配置しているが、今後も職員の資質向上を図るとともに、各種虐待及びDV防止の啓発に努めていく必要がある。</p>																																																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	10,200,797	9,968,121	7,463,313			2,504,808																																																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	1 項	社会福祉費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																
	13 目	生活困窮者自立支援費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																
担当課	保健福祉部保護課		中 事 業	自立相談支援事業費、住居確保給付事業費																																	
実施計画掲載ページ	P71		事 業 名	生活困窮者自立支援事業																																	
目的及び事業内容	<p>「各種制度の狭間」にある生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する支援や情報の提供等によって、課題が複雑化・深刻化する前に、困窮状態からの脱却を支援し自立の促進を図る。</p>																																				
取組実績	<p>1. 自立相談支援事業（必須事業） 生活困窮者からの相談を受け、その抱えている課題を評価・分析し、それに応じた支援を計画的かつ継続的に行ったことで、自立助長が図られた。</p> <p>2. 住居確保給付事業（必須事業） 離職等により住居を失うおそれがある者等に対して、求職活動を要件に住居確保給付金を支給し、安定した住居の確保と就労自立を図った。</p> <p>3. 就労準備支援事業（任意事業） 一般就労に向けた手厚い支援が必要な生活困窮者及び生活保護受給者に対して、就労の前段階として必要な生活習慣の形成や就労意欲の向上を図った。</p> <p>4. 家計改善支援事業（任意事業） 生活困窮者世帯の家計管理において、収入・支出の見える化を図り、お金の管理能力を身につける支援を実施した。</p> <p>5. 生活困窮者の子どもの学習・生活支援事業（任意事業） 貧困連鎖の防止の観点から、家庭の諸事情により学習塾や放課後児童クラブに通えない子供に対して、学びの場の提供や居場所の提供、親への養育相談等を通じて家庭全体への支援を図った。</p> <p>6. 生活困窮者自立支援金給付事業（必須事業） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯に対し、就労による自立や円滑に生活保護の受給につなげるために支援金を支給し生活の安定を図った。</p>																																				
成 果	<p>新型コロナウイルス感染症の長期化により複合的な相談内容が多く相談件数は増加したが、抱えている課題を早期に把握し、必要な情報提供や助言などを計画的かつ包括的に支援したことで、新規相談申請に至らずとも相談者の自立助長が図られた。</p> <p>また、離職や減収により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当分の住居確保給付金を支給したことにより、住居及び就労機会等の確保が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">自立相談支援事業</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ相談件数</td> <td>395件</td> <td>1,034件</td> <td>1,196件</td> </tr> <tr> <td>新規相談申請件数</td> <td>135件</td> <td>212件</td> <td>256件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">住居確保給付事業</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>1件</td> <td>25件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>支給件数</td> <td>1件</td> <td>21件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>					自立相談支援事業				年度	R1	R2	R3	延べ相談件数	395件	1,034件	1,196件	新規相談申請件数	135件	212件	256件	住居確保給付事業				年度	R1	R2	R3	申請件数	1件	25件	11件	支給件数	1件	21件	10件
自立相談支援事業																																					
年度	R1	R2	R3																																		
延べ相談件数	395件	1,034件	1,196件																																		
新規相談申請件数	135件	212件	256件																																		
住居確保給付事業																																					
年度	R1	R2	R3																																		
申請件数	1件	25件	11件																																		
支給件数	1件	21件	10件																																		
成果に係る評価	<p>生活困窮者が抱える多様で複合的な課題を包括的に受け止め、深刻化する前に情報提供や各関係機関へのつなぎにより、新規相談申請や生活保護に至らなくとも終結できたことは、本事業の強みであると言える。</p> <p>また、離職や居住を失う恐れのある相談者に対し、住居確保給付金を支給したことで、安定した住居の確保と就労自立が図られたことから、引き続き制度の利用が必要な市民に積極的な案内や周知を図り、給付金支給と同時に就労支援にも努める必要がある。</p>																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	206,836,000	73,786,227	45,324,591			28,461,636																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																		
	2 項	老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																		
	1 目	老人福祉総務費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																		
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	敬老祝金支給事業費																			
実施計画掲載ページ	P60		事 業 名	敬老祝金支給事業																			
目的及び事業内容	88歳を迎える高齢者に敬老祝金、100歳を迎える高齢者に特別敬老祝金を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。																						
取組実績	1 敬老祝金等支給実績																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>916人</td> <td>9,160,000円</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>75,000円</td> <td>4人</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>150,000円</td> <td>30人</td> <td>4,500,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	金額	人数	支給額	R1	88歳	10,000円	916人	9,160,000円	100歳	75,000円	4人	300,000円	計	150,000円	30人	4,500,000円
	年度	区分	金額	人数	支給額																		
	R1	88歳	10,000円	916人	9,160,000円																		
		100歳	75,000円	4人	300,000円																		
		計	150,000円	30人	4,500,000円																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>1,005人</td> <td>10,050,000円</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>75,000円</td> <td>3人</td> <td>225,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>150,000円</td> <td>76人</td> <td>11,400,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	金額	人数	支給額	R2	88歳	10,000円	1,005人	10,050,000円	100歳	75,000円	3人	225,000円	計	150,000円	76人	11,400,000円
	年度	区分	金額	人数	支給額																		
	R2	88歳	10,000円	1,005人	10,050,000円																		
		100歳	75,000円	3人	225,000円																		
計		150,000円	76人	11,400,000円																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>982人</td> <td>9,820,000円</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>50,000円</td> <td>2人</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100,000円</td> <td>61人</td> <td>6,100,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	金額	人数	支給額	R3	88歳	10,000円	982人	9,820,000円	100歳	50,000円	2人	100,000円	計	100,000円	61人	6,100,000円	
年度	区分	金額	人数	支給額																			
R3	88歳	10,000円	982人	9,820,000円																			
	100歳	50,000円	2人	100,000円																			
	計	100,000円	61人	6,100,000円																			
2 受給資格及び支給額																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>祝金</th> <th>受給資格者</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敬老祝金 88歳</td> <td>88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別敬老祝金 100歳</td> <td rowspan="2">H30～R2</td> <td>3年以上10年未満</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td>10年以上</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3以降</td> <td>3年以上10年未満</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>10年以上</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table>					祝金	受給資格者	支給額	敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円	特別敬老祝金 100歳	H30～R2	3年以上10年未満	75,000円	10年以上	150,000円	R3以降	3年以上10年未満	50,000円	10年以上	100,000円		
祝金	受給資格者	支給額																					
敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円																					
特別敬老祝金 100歳	H30～R2	3年以上10年未満	75,000円																				
		10年以上	150,000円																				
	R3以降	3年以上10年未満	50,000円																				
		10年以上	100,000円																				
※高齢者人口の増加に伴う事業費の増加のため、平成30年度より特別敬老祝金の金額を改正し、令和2年度までは経過措置期間とした。																							
成 果	高齢者に対し、敬老祝金等を支給し、長寿を祝い、敬老の意を表することができた。																						
成果に係る評価	長年に渡り社会の発展に貢献された高齢者に対し、祝金を支給し、長寿を祝い、敬意を表することで、高齢者福祉への関心が深まるとともに、周囲の高齢者の健康への意識も高まり、福祉の向上が図られた。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	16,437,324	16,233,995				16,233,995																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																									
	2 項	老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																									
	1 目	老人福祉総務費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																																																									
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	敬老会費																																																										
実施計画掲載ページ	P61		事 業 名	敬老会開催事業																																																										
目的及び事業内容	77歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表するとともに心身の健康意識の向上を図る。																																																													
取組実績	1 令和3年度実績 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内全地区で市主催の敬老会を中止とした。 代替事業として対象者全員に市長直筆のメッセージ及び市内保育所児童からのメッセージを添えて記念品(オリジナルカレンダー)を送付した。																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>発送者数</td> <td>14,782人</td> <td>1,878人</td> <td>369人</td> <td>2,887人</td> <td>1,160人</td> <td>485人</td> <td>589人</td> <td>22,150人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計	R3	発送者数	14,782人	1,878人	369人	2,887人	1,160人	485人	589人	22,150人																																					
	年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計																																																				
	R3	発送者数	14,782人	1,878人	369人	2,887人	1,160人	485人	589人	22,150人																																																				
	2 令和元年度及び令和2年度の実績																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">R1</td> <td>対象者数</td> <td>14,108人</td> <td>1,922人</td> <td>390人</td> <td>2,856人</td> <td>1,176人</td> <td>479人</td> <td>627人</td> <td>21,558人</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>676人</td> <td>243人</td> <td>68人</td> <td>391人</td> <td>225人</td> <td>77人</td> <td>102人</td> <td>1,782人</td> </tr> <tr> <td>記念品のみ</td> <td>812人</td> <td>70人</td> <td>13人</td> <td>100人</td> <td>19人</td> <td>32人</td> <td>30人</td> <td>1,076人</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>4.8%</td> <td>12.6%</td> <td>17.4%</td> <td>13.7%</td> <td>19.1%</td> <td>16.1%</td> <td>16.3%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加率</td> <td>10.5%</td> <td>16.3%</td> <td>20.8%</td> <td>17.2%</td> <td>20.7%</td> <td>22.8%</td> <td>21.1%</td> <td>13.3%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計	R1	対象者数	14,108人	1,922人	390人	2,856人	1,176人	479人	627人	21,558人	出席者数	676人	243人	68人	391人	225人	77人	102人	1,782人	記念品のみ	812人	70人	13人	100人	19人	32人	30人	1,076人	出席率	4.8%	12.6%	17.4%	13.7%	19.1%	16.1%	16.3%	8.3%		参加率	10.5%	16.3%	20.8%	17.2%	20.7%	22.8%	21.1%	13.3%
	年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計																																																				
	R1	対象者数	14,108人	1,922人	390人	2,856人	1,176人	479人	627人	21,558人																																																				
		出席者数	676人	243人	68人	391人	225人	77人	102人	1,782人																																																				
		記念品のみ	812人	70人	13人	100人	19人	32人	30人	1,076人																																																				
出席率		4.8%	12.6%	17.4%	13.7%	19.1%	16.1%	16.3%	8.3%																																																					
	参加率	10.5%	16.3%	20.8%	17.2%	20.7%	22.8%	21.1%	13.3%																																																					
※出席率は対象者数に対する出席者数の割合、参加率は出席者数に記念品受け取りのみの方を含めた割合。																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>発送者数</td> <td>14,494人</td> <td>1,881人</td> <td>364人</td> <td>2,868人</td> <td>1,166人</td> <td>495人</td> <td>599人</td> <td>21,867人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計	R2	発送者数	14,494人	1,881人	364人	2,868人	1,166人	495人	599人	21,867人																																						
年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計																																																					
R2	発送者数	14,494人	1,881人	364人	2,868人	1,166人	495人	599人	21,867人																																																					
成 果	市主催の敬老会中止に伴う代替事業として、市長の直筆メッセージ及び市内保育所児童からのメッセージを同封した記念品を対象者全員に送付することで、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表することができた。 また、市内保育所児童からのメッセージを本庁舎1階イオン石巻駅前店に展示することにより、多くの市民に高齢者福祉への関心と理解を深めてもらうことができた。																																																													
成果に係る評価	令和3年度の敬老会は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、全地区で中止している。敬老会の出席率は、震災以降大幅に低下しており、出席率の向上に向けた取組を行っているが、10%以下の低調な状況が継続していることから、今後の事業のあり方について検討する必要がある。																																																													
(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	12,344,676	12,212,660	12,023,805			188,855																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																														
	2 項	老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																														
	1 目	老人福祉総務費		(1)	高齢者の生きがいをづくりを推進する																														
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	高齢者保健福祉事業費																															
実施計画掲載ページ	P61		事 業 名	老人クラブ活動費補助事業																															
目的及び事業内容	高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。																																		
取組実績	1 老人クラブに対する補助金																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準</th> <th>単価</th> <th>クラブ数</th> <th>会員数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10人以上35人未満</td> <td>34,000円</td> <td>43クラブ</td> <td>885人</td> <td>1,462,000円</td> </tr> <tr> <td>35人以上70人未満</td> <td>50,000円</td> <td>20クラブ</td> <td>820人</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>70人以上100人未満</td> <td>60,000円</td> <td>0クラブ</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>100人以上</td> <td>70,000円</td> <td>1クラブ</td> <td>155人</td> <td>70,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>64クラブ</td> <td>1,860人</td> <td>2,532,000円</td> </tr> </tbody> </table>					基準	単価	クラブ数	会員数	金額	10人以上35人未満	34,000円	43クラブ	885人	1,462,000円	35人以上70人未満	50,000円	20クラブ	820人	1,000,000円	70人以上100人未満	60,000円	0クラブ	0人	0円	100人以上	70,000円	1クラブ	155人	70,000円	計		64クラブ	1,860人	2,532,000円
	基準	単価	クラブ数	会員数	金額																														
	10人以上35人未満	34,000円	43クラブ	885人	1,462,000円																														
35人以上70人未満	50,000円	20クラブ	820人	1,000,000円																															
70人以上100人未満	60,000円	0クラブ	0人	0円																															
100人以上	70,000円	1クラブ	155人	70,000円																															
計		64クラブ	1,860人	2,532,000円																															
2 老人クラブ連合会に対する補助金																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本割</td> <td>1,143,000円</td> </tr> <tr> <td>会員数割</td> <td>150円×1,880人=282,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,425,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※会員数割の基準日は4月1日</p>					内訳	金額	基本割	1,143,000円	会員数割	150円×1,880人=282,000円	計	1,425,000円																							
内訳	金額																																		
基本割	1,143,000円																																		
会員数割	150円×1,880人=282,000円																																		
計	1,425,000円																																		
3 クラブ数及び会員数推移（年度末数値）																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>クラブ数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>78クラブ</td> <td>2,421人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>69クラブ</td> <td>2,100人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>64クラブ</td> <td>1,860人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	クラブ数	会員数	R1	78クラブ	2,421人	R2	69クラブ	2,100人	R3	64クラブ	1,860人																			
区分	クラブ数	会員数																																	
R1	78クラブ	2,421人																																	
R2	69クラブ	2,100人																																	
R3	64クラブ	1,860人																																	
成 果	各老人クラブ及び老人クラブ連合会へ活動費補助金を交付し、老人クラブ等の自主的活動を支援することで、地域社会及び関係諸団体等との社会交流が促進され、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。																																		
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響や会員の高齢化に伴う役員の担い手不足等により、会員数及びクラブ数は年々減少傾向にある。市報に会員募集案内を掲載するなど老人クラブの存在をアピールする取組を行っているが、会員増加には至らなかった。 老人クラブは高齢者の生きがいを高め、孤立感の解消と社会交流を図っていることから、今後もその存在を周知するとともに、本事業を継続し、自主的活動を支援する必要がある。																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	4,386,000	3,957,000	1,526,909			2,430,091																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																			
	2 項	老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																																																																			
	2 目	在宅老人福祉費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																																																																																																			
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業費																																																																																																																				
実施計画掲載ページ	P62		事 業 名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業																																																																																																																				
目的及び事業内容	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備し、日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。																																																																																																																							
取組実績	1 緊急通報システム設置状況																																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全 体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>年度末設置者数</td> <td>291人</td> <td>184人</td> <td>28人</td> <td>14人</td> <td>29人</td> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>33人</td> <td>19人</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>年度末設置者数</td> <td>277人</td> <td>177人</td> <td>23人</td> <td>14人</td> <td>31人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>33人</td> <td>14人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>7人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>年度末設置者数</td> <td>500人</td> <td>394人</td> <td>34人</td> <td>13人</td> <td>31人</td> <td>13人</td> <td>7人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>43人</td> <td>32人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※被災者見守りシステムとの合算設置者数 平成30年度516人、令和元年度535人、令和2年度525人</p> <p>【参考：被災者見守りシステム設置状況等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全 体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>年度末設置者数</td> <td>244人</td> <td>231人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>35人</td> <td>35人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>年度末設置者数</td> <td>248人</td> <td>234人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>28人</td> <td>24人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、被災者見守りシステム事業は令和2年度で終了し、令和3年度から本事業へ統合している。</p>					年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	R1	年度末設置者数	291人	184人	28人	14人	29人	17人	13人	6人	新規設置者数	33人	19人	1人	6人	3人	3人	1人	0人	R2	年度末設置者数	277人	177人	23人	14人	31人	15人	11人	6人	新規設置者数	33人	14人	5人	2人	7人	4人	1人	0人	R3	年度末設置者数	500人	394人	34人	13人	31人	13人	7人	8人	新規設置者数	43人	32人	6人	0人	3人	1人	1人	0人	年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	R1	年度末設置者数	244人	231人	4人	1人	3人	1人	0人	4人	新規設置者数	35人	35人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	R2	年度末設置者数	248人	234人	6人	1人	3人	1人	0人	3人	新規設置者数	28人	24人	3人	0人	1人	0人	0人	0人
	年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																																																																																														
	R1	年度末設置者数	291人	184人	28人	14人	29人	17人	13人	6人																																																																																																														
新規設置者数		33人	19人	1人	6人	3人	3人	1人	0人																																																																																																															
R2	年度末設置者数	277人	177人	23人	14人	31人	15人	11人	6人																																																																																																															
	新規設置者数	33人	14人	5人	2人	7人	4人	1人	0人																																																																																																															
R3	年度末設置者数	500人	394人	34人	13人	31人	13人	7人	8人																																																																																																															
	新規設置者数	43人	32人	6人	0人	3人	1人	1人	0人																																																																																																															
年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																																																																																															
R1	年度末設置者数	244人	231人	4人	1人	3人	1人	0人	4人																																																																																																															
	新規設置者数	35人	35人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																															
R2	年度末設置者数	248人	234人	6人	1人	3人	1人	0人	3人																																																																																																															
	新規設置者数	28人	24人	3人	0人	1人	0人	0人	0人																																																																																																															
2 対応実績																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">通報種類</th> <th colspan="3">対応内容</th> </tr> <tr> <th>非常ボタン</th> <th>センサー 不動通知</th> <th>救急搬送</th> <th>介助依頼 (転倒など)</th> <th>押し間違い・無断外 泊等異常なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>198件</td> <td>127件</td> <td>38件</td> <td>6件</td> <td>281件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>213件</td> <td>123件</td> <td>14件</td> <td>5件</td> <td>317件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>188件</td> <td>117件</td> <td>15件</td> <td>13件</td> <td>277件</td> </tr> </tbody> </table>					年度	通報種類		対応内容			非常ボタン	センサー 不動通知	救急搬送	介助依頼 (転倒など)	押し間違い・無断外 泊等異常なし	R1	198件	127件	38件	6件	281件	R2	213件	123件	14件	5件	317件	R3	188件	117件	15件	13件	277件																																																																																							
年度	通報種類		対応内容																																																																																																																					
	非常ボタン	センサー 不動通知	救急搬送	介助依頼 (転倒など)	押し間違い・無断外 泊等異常なし																																																																																																																			
R1	198件	127件	38件	6件	281件																																																																																																																			
R2	213件	123件	14件	5件	317件																																																																																																																			
R3	188件	117件	15件	13件	277件																																																																																																																			
成 果	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備することで、ひとり暮らし高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。																																																																																																																							
成果に係る評価	ひとり暮らしの高齢者数は増加しており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであると考えられる。今後も高齢者が安心して暮らしていくために、高齢者及び地域の支援者等への周知の仕方を検討し、新規設置者の増加を図っていく必要がある。																																																																																																																							
(単位：円)																																																																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																		
	12,228,320	11,250,194				11,250,194																																																																																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																		
	2 項	老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																		
	2 目	在宅老人福祉費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																																																																		
担当課	保健福祉部介護福祉課		中事業	デイサービス事業関係費																																																																			
実施計画掲載ページ	P63		事業名	生きがいデイサービス事業																																																																			
目的及び事業内容	65歳以上の家に閉じこもりがちで心身の機能は自立している高齢者が利用できるサービスで、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、各種教養講座、健康チェックなどを行い、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。																																																																						
取組実績	各地区の公共施設や集会施設において、バイタルチェックやうちわ卓球などの運動、健康相談などを実施するとともに、地区によっては送迎を行い、利便性を高め、高齢者が参加しやすい環境を整えることにより、高齢者の閉じこもり防止に努めた。																																																																						
	1 登録者及び会場数																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者</td> <td>68人</td> <td>20人</td> <td>57人</td> <td>136人</td> <td>134人</td> <td>77人</td> <td>23人</td> <td>515人</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>8か所</td> <td>2か所</td> <td>5か所</td> <td>6か所</td> <td>17か所</td> <td>8か所</td> <td>2か所</td> <td>48か所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	登録者	68人	20人	57人	136人	134人	77人	23人	515人	会場数	8か所	2か所	5か所	6か所	17か所	8か所	2か所	48か所																																							
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																															
登録者	68人	20人	57人	136人	134人	77人	23人	515人																																																															
会場数	8か所	2か所	5か所	6か所	17か所	8か所	2か所	48か所																																																															
2 利用状況																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>実施回数</td> <td>183回</td> <td>19回</td> <td>40回</td> <td>283回</td> <td>186回</td> <td>140回</td> <td>85回</td> <td>936回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,290人</td> <td>245人</td> <td>299人</td> <td>2,687人</td> <td>1,453人</td> <td>1,265人</td> <td>638人</td> <td>7,877人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>実施回数</td> <td>145回</td> <td>20回</td> <td>35回</td> <td>250回</td> <td>168回</td> <td>118回</td> <td>72回</td> <td>808回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>973人</td> <td>175人</td> <td>240人</td> <td>2,134人</td> <td>1,134人</td> <td>992人</td> <td>448人</td> <td>6,096人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>実施回数</td> <td>172回</td> <td>19回</td> <td>40回</td> <td>203回</td> <td>203回</td> <td>131回</td> <td>75回</td> <td>843回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,108人</td> <td>126人</td> <td>286人</td> <td>1,674人</td> <td>1,344人</td> <td>1,143人</td> <td>410人</td> <td>6,091人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	R1	実施回数	183回	19回	40回	283回	186回	140回	85回	936回	延利用者数	1,290人	245人	299人	2,687人	1,453人	1,265人	638人	7,877人	R2	実施回数	145回	20回	35回	250回	168回	118回	72回	808回	延利用者数	973人	175人	240人	2,134人	1,134人	992人	448人	6,096人	R3	実施回数	172回	19回	40回	203回	203回	131回	75回	843回	延利用者数	1,108人	126人	286人	1,674人	1,344人	1,143人	410人	6,091人
年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																														
R1	実施回数	183回	19回	40回	283回	186回	140回	85回	936回																																																														
	延利用者数	1,290人	245人	299人	2,687人	1,453人	1,265人	638人	7,877人																																																														
R2	実施回数	145回	20回	35回	250回	168回	118回	72回	808回																																																														
	延利用者数	973人	175人	240人	2,134人	1,134人	992人	448人	6,096人																																																														
R3	実施回数	172回	19回	40回	203回	203回	131回	75回	843回																																																														
	延利用者数	1,108人	126人	286人	1,674人	1,344人	1,143人	410人	6,091人																																																														
成果	創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅高齢者の福祉の進捗が図られた。																																																																						
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は4月及び5月は事業を休止、令和3年度は実施時間を短縮したため、実施回数、延利用者数ともに例年より減少したものの、高齢者の閉じこもりを防止するとともに、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等が図られ、一定の事業効果が上がっている。 これまでも財源確保、事業費の見直しについては課題としていたが、令和4年度の契約に当たり、委託事業者と協議した結果、会場の規模に応じ、職員の人数を見直し、委託料を減額している。																																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																	
48,615,000	41,402,998			40,247,998	1,155,000																																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	2 項	老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																			
	2 目	在宅老人福祉費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																			
担当課	保健福祉部介護福祉課	中事業	在宅高齢者サービス事業費																																					
実施計画掲載ページ	P62		事業名	在宅高齢者サービス事業																																				
目的及び事業内容	在宅において福祉サービスを必要とする高齢者（非課税世帯等）に対し、日常生活等の必要となる介護保険制度以外のサービスを提供する。																																							
取組実績	在宅の高齢者やその家族が必要とする福祉サービスを提供し、支援をするために、5つの事業を実施した。																																							
	1 外出支援サービス																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>144人</td> <td>26人</td> <td>7人</td> <td>84人</td> <td>21人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>291人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>536件</td> <td>81件</td> <td>10件</td> <td>235件</td> <td>40件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>913件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 3,150,120円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	144人	26人	7人	84人	21人	4人	5人	291人	利用件数	536件	81件	10件	235件	40件	6件	5件	913件								
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																
助成券交付者数	144人	26人	7人	84人	21人	4人	5人	291人																																
利用件数	536件	81件	10件	235件	40件	6件	5件	913件																																
								金額 3,150,120円																																
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>11人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>14件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 98,400円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	11人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	15人	利用件数	14件	0件	0件	0件	2件	4件	0件	20件									金額 98,400円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																
助成券交付者数	11人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	15人																																
利用件数	14件	0件	0件	0件	2件	4件	0件	20件																																
								金額 98,400円																																
3 訪問理美容サービス																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>24人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>60件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 93,000円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	24人	1人	0人	1人	0人	0人	1人	27人	利用件数	60件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	62件									金額 93,000円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																
助成券交付者数	24人	1人	0人	1人	0人	0人	1人	27人																																
利用件数	60件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	62件																																
								金額 93,000円																																
4 老人日常生活用具付事業																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>16,280円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>16,280円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	金額	16,280円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	16,280円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																
利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件																																
金額	16,280円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	16,280円																																
5 バリアフリー住宅普及促進事業																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>90,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>90,000円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	金額	90,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	90,000円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																
利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件																																
金額	90,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	90,000円																																
成果	サービスを提供することで、対象者の生活支援及び介護者の負担軽減が図られた。																																							
成果に係る評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数実績</th> <th>利用件数実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>406人</td> <td>885件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>318人</td> <td>620件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>335人</td> <td>997件</td> </tr> </tbody> </table>					区分	交付者数実績	利用件数実績	R1	406人	885件	R2	318人	620件	R3	335人	997件																							
区分	交付者数実績	利用件数実績																																						
R1	406人	885件																																						
R2	318人	620件																																						
R3	335人	997件																																						
成果に係る評価	令和2年度に比べ、交付者数・利用件数共に増加しており、コロナ禍前の利用状況に戻つつある。外出支援サービスについては、地区毎の利用状況に偏りがあることから、助成内容を検討する必要がある。また、高齢化率の上昇により、今後も一定のニーズが見込まれるため、引き続き市報やチラシでの周知徹底に努めるとともに、高齢者を支える地域包括支援センター等と連携し、事業を継続する必要がある。																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
4,054,000	3,457,480			3,457,480																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																				
	2 項	老人福祉費		第 2 節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																				
	4 目	老人保護費		( 3 )	高齢者の生活支援を推進する																																																																				
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	老人保護対策費																																																																					
実施計画掲載ページ	P61		事 業 名	老人保護対策事業																																																																					
目的及び事業内容	老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへの入所措置を行い、老人福祉の増進を図る。																																																																								
取組実績	<p>老人保護対策事業（老人ホーム入所措置）を実施した。</p> <p>1 生活相談受付 地域包括支援センター等の相談支援機関や対象者本人又は家族、親族、民生委員等の支援者から相談を受け、必要な助言をするとともに適切な機関及び制度につなげている。 上記相談のうち、本人や家族が養護老人ホームへの入所を希望している場合又は状況を勘案し同ホームへの入所が必要と思われる場合は、入所措置制度について説明を行い、必要に応じて生活実態に関する調査を行っている。</p> <p>2 生活実態調査 養護老人ホームの入所を希望する者の生活状況等の実態調査を行った。</p> <p>3 老人ホーム入所判定委員会の開催 (※1) 養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th rowspan="2">入所判定人数</th> <th colspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>適</th> <th>否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>2回</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2回</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2回</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 3の入所判定（適）の人数と4の新規入所者数が異なるのは、入所時期が翌年度となる等の理由による。</p> <p>4 養護老人ホームへの措置 (※2) 養護老人ホーム措置者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th rowspan="3">年度当初入所者数</th> <th colspan="2">増減</th> <th rowspan="3">合計</th> <th colspan="4">年度末入所者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">新規入所者数</th> <th rowspan="2">退所者数</th> <th colspan="4">内訳</th> </tr> <tr> <th>万生園 (石巻市)</th> <th>ひばり園 (美里町)</th> <th>松寿園 (名取市)</th> <th>松風荘 (名取市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>79人</td> <td>14人</td> <td>15人</td> <td>78人</td> <td>61人</td> <td>14人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>78人</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>78人</td> <td>61人</td> <td>15人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>79人</td> <td>14人</td> <td>11人</td> <td>81人</td> <td>63人</td> <td>17人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※2) 4月1日に入所した者は、年度当初入所者と新規入所者の両方に含む。</p>					区分	開催回数	入所判定人数	結果		適	否	R1	2回	13人	13人	0人	R2	2回	15人	15人	0人	R3	2回	12人	12人	0人	年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数				新規入所者数	退所者数	内訳				万生園 (石巻市)	ひばり園 (美里町)	松寿園 (名取市)	松風荘 (名取市)	R1	79人	14人	15人	78人	61人	14人	2人	1人	R2	78人	15人	15人	78人	61人	15人	1人	1人	R3	79人	14人	11人	81人	63人	17人	1人	0人
区分	開催回数	入所判定人数	結果																																																																						
			適	否																																																																					
R1	2回	13人	13人	0人																																																																					
R2	2回	15人	15人	0人																																																																					
R3	2回	12人	12人	0人																																																																					
年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数																																																																				
		新規入所者数	退所者数		内訳																																																																				
					万生園 (石巻市)	ひばり園 (美里町)	松寿園 (名取市)	松風荘 (名取市)																																																																	
R1	79人	14人	15人	78人	61人	14人	2人	1人																																																																	
R2	78人	15人	15人	78人	61人	15人	1人	1人																																																																	
R3	79人	14人	11人	81人	63人	17人	1人	0人																																																																	
成 果	老人ホーム入所に係る生活相談、生活実態調査、老人ホーム入所判定委員会を経て、環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																																																								
成果に係る評価	在宅での生活が困難である高齢者を対象に老人福祉法に基づく入所措置をすることにより、生きがいを持ち、健全で安らかな生活を営む環境を提供できることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																																																								
予算額	246,553,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
		241,474,839	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
				32,415,326	209,059,513																																																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																													
	3 項	児童福祉費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																													
	1 目	児童福祉総務費		( 3 )	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																													
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	民間保育所助成費																																																																														
実施計画掲載ページ	P76		事 業 名	民間保育所助成事業																																																																														
目的及び事業内容	市内に設置されている民間認可外保育施設の適正な運営と職員の研究活動の促進を図るため、3歳未満の保育を行い、利用児童が6人以上で1日の保育時間が8時間を超え、かつ保育を通常午後まで行っている等の要件を満たす施設に対して補助金を交付する。																																																																																	
取組実績	<p>■認可外保育施設の適正な運営を図るため、要件を満たす施設に補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">職員数</th> <th rowspan="2">対象延べ児童数</th> <th colspan="4">補助金額内訳</th> </tr> <tr> <th>施設運営費</th> <th>児童保育費</th> <th>職員研究奨励費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所ちびっこランド石巻向陽園</td> <td>5人</td> <td>112人</td> <td>22,000円</td> <td>602,000円</td> <td>222,000円</td> <td>846,000円</td> </tr> <tr> <td>託児室 びよちゃんらんど</td> <td>4人</td> <td>77人</td> <td>55,000円</td> <td>802,000円</td> <td>163,500円</td> <td>1,020,500円</td> </tr> <tr> <td>木のおへや みらいキッズ</td> <td>6人</td> <td>189人</td> <td>55,000円</td> <td>1,609,000円</td> <td>257,000円</td> <td>1,921,000円</td> </tr> <tr> <td>ハピネス保育園 へびた</td> <td>2人</td> <td>114人</td> <td>55,000円</td> <td>1,212,000円</td> <td>93,500円</td> <td>1,360,500円</td> </tr> <tr> <td>託児所 Petit Ange</td> <td>3人</td> <td>44人</td> <td>0円</td> <td>460,000円</td> <td>152,000円</td> <td>612,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20人</td> <td>536人</td> <td>187,000円</td> <td>4,685,000円</td> <td>888,000円</td> <td>5,760,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移（入所児童数は、各年度4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象施設数</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>5施設</td> <td>4施設</td> <td>5施設</td> </tr> <tr> <td>対象施設定員数</td> <td>60人</td> <td>65人</td> <td>96人</td> <td>96人</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>入所児童数</td> <td>32人</td> <td>23人</td> <td>26人</td> <td>31人</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳				施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	計	保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	112人	22,000円	602,000円	222,000円	846,000円	託児室 びよちゃんらんど	4人	77人	55,000円	802,000円	163,500円	1,020,500円	木のおへや みらいキッズ	6人	189人	55,000円	1,609,000円	257,000円	1,921,000円	ハピネス保育園 へびた	2人	114人	55,000円	1,212,000円	93,500円	1,360,500円	託児所 Petit Ange	3人	44人	0円	460,000円	152,000円	612,000円	合計	20人	536人	187,000円	4,685,000円	888,000円	5,760,000円	項目	H29	H30	R1	R2	R3	対象施設数	3施設	3施設	5施設	4施設	5施設	対象施設定員数	60人	65人	96人	96人	119人	入所児童数	32人	23人	26人	31人	52人
施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳																																																																															
			施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	計																																																																												
保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	112人	22,000円	602,000円	222,000円	846,000円																																																																												
託児室 びよちゃんらんど	4人	77人	55,000円	802,000円	163,500円	1,020,500円																																																																												
木のおへや みらいキッズ	6人	189人	55,000円	1,609,000円	257,000円	1,921,000円																																																																												
ハピネス保育園 へびた	2人	114人	55,000円	1,212,000円	93,500円	1,360,500円																																																																												
託児所 Petit Ange	3人	44人	0円	460,000円	152,000円	612,000円																																																																												
合計	20人	536人	187,000円	4,685,000円	888,000円	5,760,000円																																																																												
項目	H29	H30	R1	R2	R3																																																																													
対象施設数	3施設	3施設	5施設	4施設	5施設																																																																													
対象施設定員数	60人	65人	96人	96人	119人																																																																													
入所児童数	32人	23人	26人	31人	52人																																																																													
成 果	交付要件を満たす認可外保育施設5施設に対し、補助金を交付することにより、適正な運営及び職員の資質向上を支援することができた。また、低年齢児の受入れを促すとともに、低年齢児保育の重要性の啓発と促進を図ることができた。																																																																																	
成果に係る評価	保護者の就労形態等の変化により、保育ニーズは高まっており、認可外保育施設の入所児童数も増加している。認可外保育施設は、待機児童の受け皿として寄与しており、保育所の安定的な運営のために補助金を支給し、安定した保育の提供を補助していく必要がある。																																																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																	
予算額	6,589,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
		5,760,000	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
			2,016,000			3,744,000																																																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
	3 項	児童福祉費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実		
	1 目	児童福祉総務費		( 3 )	子どもが安心して過ごせる環境を整備する		
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	私立認可保育所等運営費			
実施計画掲載ページ	P77		事 業 名	私立保育所助成事業			
目的及び事業内容	<p>私立認可保育所等に運営費を給付し、運営の安定化を図ることにより、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。</p> <p>また、延長保育実施施設に対して補助金を交付することで、安定した運営を図り、保育時間延長を希望する保護者の就労支援を行う。</p>						
取組実績	<p>1 私立認可保育所14施設、私立認定こども園2施設に対して、子ども・子育て支援法に基づき、子どものための教育・保育給付費の給付を行った。</p> <p>2 私立認可保育所13施設、私立認定こども園2施設が実施している延長保育事業に対して、石巻市時間延長保育事業費補助金交付要綱に基づき交付を行った。</p>						
	【委託料等の内訳】						
			施設数	金額			
給付費		16	1,462,050,800円				
補助金（延長保育）		15	7,897,000円				
合計		—	1,469,947,800円				
成 果	<p>私立認可保育所等への給付により、各保育所が特色を生かした保育を行い、保育の質が向上するとともに、併せて延長保育事業を実施することで、保護者が安心して児童を預けられる環境が整えられたため、就労支援と児童福祉の増進が図られた。（※延長保育事業は、各保育所で実施。ただし、なかよし保育園を除く。）</p>						
			認可定員	入所児童数（4月1日現在）		延長保育	
				R1	R2	R3	
	なかよし保育園		60人	61人	61人	60人	一時預かり事業実施
	ひまわり保育園		90人	87人	91人	89人	○
	インターナショナル「リスケル」ノッチ		70人	67人	71人	65人	○
	ブルーバードインターナショナル「リスケル」		110人	96人	97人	98人	○
	石巻ひがし保育園		60人	59人	58人	54人	○
	石巻たから保育園		60人	50人	58人	65人	○
	ケヤキッズあゆみの保育園		99人	91人	92人	91人	○
	乳幼児保育園ミルク		85人	76人	84人	86人	○ 病後児保育事業実施
	レインボーインターナショナル「リスケル」		75人	62人	69人	75人	○
	ケヤキッズさくらまほ保育園		90人	65人	87人	75人	○
	ケヤキッズのぞみの保育園		90人	70人	92人	90人	○
	リトルメイドインターナショナル「リスケル」		60人	18人	34人	43人	○
広瀬保育所		60人	55人	60人	54人	○	
メロン保育園		140人	159人	155人	154人	○	
さくらこども園		90人	81人	75人	82人	○ R3よりこども園	
アリスこども園		85人	78人	73人	67人	○ R3よりこども園	
合計		1,324人	1,175人	1,257人	1,248人		
成果に係る評価	<p>保護者の就労の変化や幼児教育・保育の無償化により、少子化の傾向ではあるものの、今後も入所希望数は高い水準で推移すると見込まれることや、待機児童の解消からも、私立認可保育施設が担う役割は重要であるため、今後も引き続き事業を継続する。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,503,376,000	1,469,947,800	1,002,117,704		126,885,040	340,945,056	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	3 項	児童福祉費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	
	1 目	児童福祉総務費		( 1 )	妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援を行う	
担当課	保健福祉部 総合相談センター		中 事 業	母子支援事業費		
実施計画掲載ページ	P81		事 業 名	助産施設入所助成事業		
目的及び事業内容	<p>母子保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し出産費用を助成することにより、安心して出産ができるよう助産施設への入所を図る。</p>					
取組実績	1 助産施設 県内8施設が対象					
			石巻赤十字病院	仙台医療センター	東北大学病院	
			仙台市立病院	仙台赤十字病院	気仙沼市立病院	
		大崎市民病院	スズキ記念病院			
取組実績	2 利用対象者					
	保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等				
経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等					
成 果	<p>経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。利用者は就労困難や家族等の支援が乏しい場合が多いため、より安心して出産できるよう、相談・申請の段階において、保健師及び家庭児童相談員による適切な母子支援を行い、安心して出産できる体制づくりに努めた。</p>					
	〈利用実績〉					
	年度	利用施設名	利用者数	区 分		
				普通分娩	帝王切開	
	R1	石巻赤十字病院	4人	2	2	
	R2	石巻赤十字病院	4人	4	0	
		東北大学病院	1人	0	1	
	R3	石巻赤十字病院	4人	3	1	
	成果に係る評価	<p>近年利用者数は横ばい状態にあるが、この制度を利用することで、大きな負担となっている金銭面の悩みが軽減し、安全な分娩に繋げることができた。今後も病院及び関係機関と連携を図りながら、より良い養育環境づくりに努めていく。児童福祉法に基づく安全な出産を確保するための施策であり、今後も継続して実施していく必要がある。</p>				
	（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	3,360,000	2,602,623	1,833,151			769,472

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																
担当課	保健福祉部 総合相談センター		中 事 業	母子支援事業費																	
実施計画掲載ページ	P81		事 業 名	養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）																	
目的及び事業内容	要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。																				
取組実績	<p>育児に対する強い不安や不衛生な生活環境にあるなど、特に養育支援が必要とされる家庭に対しホームヘルパー、保健師等を派遣し、家事援助や育児支援を行い、適切な養育環境の確保を実施した。</p> <p>1 対象者  (1) 生活環境等が不適切な養育状態にあり、虐待の恐れがある家庭  (2) 出産後、間もない時期（概ね1年程度）の養育者が育児ストレス等により強い不安を抱える家庭  (3) 若年の妊婦、望まない妊娠などで妊娠前から継続的な支援を必要とする家庭</p> <p>2 支援内容  (1) ホームヘルパーによる育児、家事の援助  (2) 保健師等による専門的な育児指導及び栄養指導</p> <p>3 派遣可否の決定  「養育支援個別ケース検討会議」を開催し決定</p> <p>4 支援基準  1回2時間以内、1日2回まで</p> <p>5 委託先  社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</p>																				
成 果	<p>ホームヘルパー等による育児・家事の援助及び子どもの養育に関する指導・助言などを行うことで、家事負担や育児不安の軽減が図られ、養育環境の改善と子どもの安全が守られた。</p> <p>【ホームヘルパー派遣利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用世帯数</th> <th>利用延回数</th> <th>派遣時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>1世帯</td> <td>4回</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5世帯</td> <td>213回</td> <td>201時間</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3世帯</td> <td>674回</td> <td>503時間</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数	R1	1世帯	4回	4時間	R2	5世帯	213回	201時間	R3	3世帯	674回	503時間
年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数																		
R1	1世帯	4回	4時間																		
R2	5世帯	213回	201時間																		
R3	3世帯	674回	503時間																		
成果に係る評価	<p>令和3年度の利用延回数、派遣時間数ともに大幅な増となったが、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な理由で養育支援を必要としている家庭に対し、居室内の整理整頓や食事の準備等、具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施し、それぞれの家庭が抱える養育上の諸問題の軽減が図られた。</p> <p>今後も関係機関・団体との緊密な連携により、母親の育児ストレスを軽くし、安定した子どもの養育環境を確保することが、虐待リスクの軽減にも繋がることから、引き続き支援を行っていくことが重要である。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	1,706,000	1,131,750	754,000			377,750															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章																																																																										
	3 項	児童福祉費		第 節																																																																										
	1 目	児童福祉総務費		( )																																																																										
担当課	保健福祉部子ども保育課	中 事 業	地域型保育事業運営費																																																																											
実施計画掲載ページ		事 業 名	地域型保育事業																																																																											
目的及び事業内容	本市の地域型保育事業所（小規模保育事業所）に運営費を支弁し、地域型保育事業の運営の安定化を図ることにより、保育の受け皿を確保し、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。																																																																													
取組実績	<p>1 小規模保育事業所8施設に対して、子ども・子育て支援法に基づき、子どものための教育・保育給付費の給付を行った。</p> <p>2 小規模保育事業所5施設が実施している延長保育事業に対して、石巻市時間延長保育事業費補助金交付要綱に基づき交付を行った。</p> <p>【扶助費及び補助金の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付費</td> <td>8</td> <td>285,704,730円</td> </tr> <tr> <td>補助金（延長保育）</td> <td>5</td> <td>1,145,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>286,849,730円</td> </tr> </tbody> </table>						施設数	金額	給付費	8	285,704,730円	補助金（延長保育）	5	1,145,000円	合計	—	286,849,730円																																																													
	施設数	金額																																																																												
給付費	8	285,704,730円																																																																												
補助金（延長保育）	5	1,145,000円																																																																												
合計	—	286,849,730円																																																																												
成 果	<p>小規模保育事業所への給付により、各事業所が特色を生かした保育を行い、保育の質が向上するとともに、併せて延長保育事業を実施することで、保護者が安心して児童を預けられる環境が整えられたため、就労支援と児童福祉の増進が図られた。（※延長保育事業は、以下5施設で実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保 育 所 名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="3">入所児童数（4月1日現在）</th> <th rowspan="2">延長保育</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>11人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズへびた保育園</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>19人</td> <td>16人</td> <td>17人</td> <td>15人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズにばんやち保育園</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小規模保育事業所ちるびよ</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>16人</td> <td>17人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>19人</td> <td>9人</td> <td>18人</td> <td>9人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハピネス保育園南境</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>145人</td> <td>126人</td> <td>138人</td> <td>124人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			延長保育	備考	R1	R2	R3	GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	11人	○		ケヤキズへびた保育園	19人	18人	19人	19人	○		ピーターパン石巻南中里園	19人	16人	17人	15人			ケヤキズにばんやち保育園	19人	19人	19人	17人	○		小規模保育事業所ちるびよ	19人	17人	16人	17人			石巻中里メリー保育園	19人	9人	18人	9人			ハピネス保育園南境	19人	18人	18人	17人	○		吉田保育園	19人	17人	19人	19人	○		合計	145人	126人	138人	124人		
保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			延長保育			備考																																																																						
		R1	R2	R3																																																																										
GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	11人	○																																																																									
ケヤキズへびた保育園	19人	18人	19人	19人	○																																																																									
ピーターパン石巻南中里園	19人	16人	17人	15人																																																																										
ケヤキズにばんやち保育園	19人	19人	19人	17人	○																																																																									
小規模保育事業所ちるびよ	19人	17人	16人	17人																																																																										
石巻中里メリー保育園	19人	9人	18人	9人																																																																										
ハピネス保育園南境	19人	18人	18人	17人	○																																																																									
吉田保育園	19人	17人	19人	19人	○																																																																									
合計	145人	126人	138人	124人																																																																										
成果に係る評価	<p>地域型保育事業所（小規模保育事業所）は、0歳児から2歳児までを対象としており、待機児童が多い当該年齢層の保育の受け皿の拡大に寄与している。昨今、少子化に伴い児童数が減少しているにも関わらず、保護者の就労の変化により、特に0歳から2歳児の入所申し込みは、今後も増加傾向が続くものと予想しており、その保育需要への主要な受け皿としても期待しているところである。しかし、3才児以降の利用施設が移行するなどの理由により利用者数が減少傾向にあることから、移行対象施設を保護者に明確に伝え、小規模保育事業所の卒園児受入れを切れ目のないよう調整を図り入所を促進する。</p>																																																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																								
	307,984,053	286,849,730	218,085,506			68,764,224																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																							
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																							
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																							
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	子育て支援センター管理費																																								
実施計画掲載ページ	P74		事 業 名	地域子ども・子育て支援拠点事業																																								
目的及び事業内容	家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、もって子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。																																											
取組実績	基本事業 (1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供 (2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施 (3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供 (4) 子育て及び子育て支援に関する講習等を月1回以上実施																																											
	子育て支援センター開設所(12か所)																																											
	湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内																																								
	渡波子育て支援センター	渡波保育所内	牡鹿子育て支援センター	牡鹿保健福祉センター内																																								
	河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内																																								
	雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内																																								
	河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ベビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田																																								
	桃生子育て支援センター	桃生パイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目																																								
成 果	親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場が定着し、主任児童委員をはじめとする地域住民との連携が図られている。また、支援センターの指導員は、利用親子の身近な相談業務を行い、育児不安解消の一助に繋がっている。																																											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>電話・来所・訪問(相談件数)</td> <td>3,197件</td> <td>1,845件</td> <td>1,573件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子育てサークル支援(支援件数)</td> <td>678件</td> <td>306件</td> <td>379件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>親子教室・遊びの広場(参加親子組数)</td> <td>13,590組</td> <td>8,032組</td> <td>8,060組</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">成果指標(参加親子組数)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>17,000組</td> <td>13,590組</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>14,000組</td> <td>8,032組</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14,000組</td> <td>8,060組</td> <td>58%</td> </tr> </table>					実績		R1年度	R2年度	R3年度	1	電話・来所・訪問(相談件数)	3,197件	1,845件	1,573件	2	子育てサークル支援(支援件数)	678件	306件	379件	3	親子教室・遊びの広場(参加親子組数)	13,590組	8,032組	8,060組	成果指標(参加親子組数)				区分	目標値	実績値	達成率	R1	17,000組	13,590組	80%	R2	14,000組	8,032組	57%	R3	14,000組	8,060組
実績		R1年度	R2年度	R3年度																																								
1	電話・来所・訪問(相談件数)	3,197件	1,845件	1,573件																																								
2	子育てサークル支援(支援件数)	678件	306件	379件																																								
3	親子教室・遊びの広場(参加親子組数)	13,590組	8,032組	8,060組																																								
成果指標(参加親子組数)																																												
区分	目標値	実績値	達成率																																									
R1	17,000組	13,590組	80%																																									
R2	14,000組	8,032組	57%																																									
R3	14,000組	8,060組	58%																																									
成果に係る評価	親子教室・遊びの広場の利用者が年々減少しており、出生数の減少や、3歳未満の子どもの保育施設利用の増加が関係していると考えられる。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制にして、人数制限を設けて開催した結果、令和2年度とほぼ同数の利用者数となった。子育ての悩みや不安を気兼ねなく相談できる場所としての機能や、子育てサークル支援による地域との交流活動を通じた地域における子育て親子の交流等を促進するという機能を充実し本事業の推進を図っていく。																																											
予算の執行状況	(単位:円)																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																							
	74,463,522	74,022,553	48,350,000		25,672,553																																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																								
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																								
	1 目	児童福祉総務費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																								
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	保育士確保支援事業費																																									
実施計画掲載ページ	P79		事 業 名	保育士確保支援事業																																									
目的及び事業内容	本市の保育士不足を解消するため、市内私立認可保育施設に常勤保育士等として新たに勤務する者に対し、就労支援金及び資格取得支援金を助成し、保育士資格取得の促進、保育施設への就職及び離職防止につなげ、安定した保育施設の運営を図るもの。																																												
取組実績	令和3年度は、26名(新規:13名、継続:13名)に対し、就労支援金として2,800,000円、1名に対し、資格取得支援金9,000円を交付した。																																												
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>補助金額</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">就労支援金</td> <td rowspan="2">就労開始時</td> <td>転入有</td> <td>200,000円</td> <td>3人</td> <td>600,000円</td> <td>2人</td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>転入無</td> <td>100,000円</td> <td>10人</td> <td>1,000,000円</td> <td>11人</td> <td>1,100,000円</td> </tr> <tr> <td>勤続1年後</td> <td>100,000円</td> <td>7人</td> <td>700,000円</td> <td>13人</td> <td>1,300,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資格取得支援金</td> <td>最大100,000円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td>1人</td> <td>9,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>最大300,000円</td> <td>20人</td> <td>2,300,000円</td> <td>27人</td> <td>2,809,000円</td> </tr> </table>					区 分		補助金額	R2		R3		就労支援金	就労開始時	転入有	200,000円	3人	600,000円	2人	400,000円	転入無	100,000円	10人	1,000,000円	11人	1,100,000円	勤続1年後	100,000円	7人	700,000円	13人	1,300,000円	資格取得支援金		最大100,000円	0人	0円	1人	9,000円	計		最大300,000円	20人	2,300,000円	27人
区 分		補助金額	R2		R3																																								
就労支援金	就労開始時	転入有	200,000円	3人	600,000円	2人	400,000円																																						
		転入無	100,000円	10人	1,000,000円	11人	1,100,000円																																						
	勤続1年後	100,000円	7人	700,000円	13人	1,300,000円																																							
資格取得支援金		最大100,000円	0人	0円	1人	9,000円																																							
計		最大300,000円	20人	2,300,000円	27人	2,809,000円																																							
成 果	令和3年度新たに私立認可保育所、小規模保育所に採用された13名の保育士及び前年度採用され継続して就労している13名の保育士に対し、就労支援金を助成し、保育士の就職支援、離職防止及び保育所運営の安定を図ることができた。																																												
成果に係る評価	保育士資格の新規取得者及び就労に寄与するため、本市が独自に実施している本事業について、関係機関等への周知を強化し、保育士の確保に努め、保育環境の充実を推進する必要がある。 また、保育施設は、保育士の確保数によって利用定員が決定することから、待機児童の解消と民間保育施設の安定した運営を図るため本事業を継続して実施していきたい。																																												
予算の執行状況	(単位:円)																																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																								
	3,300,000	2,809,000			2,809,000																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																										
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																										
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																										
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	子ども・子育て支援事業費																																											
実施計画掲載ページ	P74		事 業 名	子育て世代包括支援センター事業 (地域子ども・子育て利用者支援事業)																																											
目的及び事業内容	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目的とする。子ども又はその保護者に身近な場所で、教育・保育・保健その他の子ども・子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連携調整等を行う。																																														
取組実績	<p>妊娠期から出産・子育て期までの各ステージを包括的に網羅する仕組みとして、地域子ども・子育て利用者支援事業を子育て世代包括支援センター事業と位置づけ平成28年11月より実施。基本型を子育て支援課、特定型を子ども保育課、母子保健型を健康推進課に置き、総合支所市民福祉課も一体化した体制とする。基本型の機能として子育て支援課では子育てに関する相談及び講話を実施。より子育て世代が身近で相談しやすい体制作りのために、民間子育て支援団体へも業務委託している。 ※民間子育て支援団体：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻、特定非営利活動法人やっぺす</p> <p>基本型…「利用者支援」と「地域連携」を担い、妊産婦、生活、発育（発達）、医学的問題、家庭環境等に関する相談及び情報提供を行う。 パート助産師が、市内の子育て支援センターを巡回し子どもの成長測定等を実施する際に子育てに関する専門的な相談及び講話を行う。 特定型…市の窓口において、保育所入所に関する相談を行う。 母子保健型…保健師等の専門職が関係機関と協力しながら、妊産婦及び乳幼児に関する専門的な相談を行う。</p>																																														
成 果	基本型の事業としては、子育て支援センターに助産師が出向く出張相談の充実に努め、ホームページ内に「教えて助産師さん」として、助産師からの妊娠、子育てに関するアドバイス情報を発信することで、一人で悩まず子育てできる環境づくりが図られた。																																														
	相談件数		成果指標																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">基本型</th> <th rowspan="2">特定型</th> <th rowspan="2">母子保健型</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>627件</td> <td>747件</td> <td>677件</td> <td>741件</td> <td>2,792件</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>201件</td> <td>378件</td> <td>695件</td> <td>814件</td> <td>2,088件</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>241件</td> <td>2,023件</td> <td>784件</td> <td>733件</td> <td>3,781件</td> </tr> </tbody> </table>		年度	基本型		特定型	母子保健型	計	直営	委託	R1年度	627件	747件	677件	741件	2,792件	R2年度	201件	378件	695件	814件	2,088件	R3年度	241件	2,023件	784件	733件	3,781件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>2,200件</td> <td>2,792件</td> <td>127%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>2,500件</td> <td>2,088件</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>2,700件</td> <td>3,781件</td> <td>140%</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	目標値	実績値	達成率等	R1年度	2,200件	2,792件	127%	R2年度	2,500件	2,088件	84%	R3年度	2,700件	3,781件	140%
年度	基本型			特定型	母子保健型				計																																						
	直営	委託																																													
R1年度	627件	747件	677件	741件	2,792件																																										
R2年度	201件	378件	695件	814件	2,088件																																										
R3年度	241件	2,023件	784件	733件	3,781件																																										
区 分	目標値	実績値	達成率等																																												
R1年度	2,200件	2,792件	127%																																												
R2年度	2,500件	2,088件	84%																																												
R3年度	2,700件	3,781件	140%																																												
成果に係る評価	相談件数が増え、地域の相談窓口として認知されている。複合的な問題や複雑化しているケース相談が増えており、継続相談も多くなっているため、委託事業者に対し、各種の相談に関する必要な情報提供や助言を行い、併走の在り方の工夫や、関係機関との連携が図られた。 今後も、基本型、母子保健型、特定型が一体的に機能し円滑な体制づくりについて充実を図りたい。																																														
(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	23,718,000	17,046,332	14,205,000			2,841,332																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																													
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																													
	1 目	児童福祉総務費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																													
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	子ども・子育て支援事業費																														
実施計画掲載ページ	P73		事 業 名	病後児等保育事業																														
目的及び事業内容	児童の保護者が就労等により病気の児童を保育することが困難である場合において、保育需要に対応するため、市が業務を委託した保育所において病気の回復期の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童へ緊急対応することにより、保護者が安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。																																	
取組実績	1 病後児保育対応型 平成29年4月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。児童が病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育を実施。保育所・幼稚園等に通園している児童及び市内に住所を有する児童で概ね生後6か月から就学前の児童。1日の定員は3名。看護師、保育士を1名ずつ配置。職員は利用の少ない日に、市内保育所等に対し感染症流行状況、予防策等の情報提供や巡回支援等を適宜実施した。																																	
	2 体調不良児対応型 平成28年9月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。本保育所に通所する児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に保健的な対応等を図る事業。看護師を1名配置し、預かる児童は2名まで。 担当看護師は、実施保育所における児童全体の健康管理、衛生管理等の保健的な対応を日常的に行うとともに、地域の子育て支援センターを会場に子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を、地域のニーズに応じて定期的実施した。																																	
成 果	病後児対応型は、新型コロナウイルス感染症予防から年間利用者数が減少したが、感染症予防策の情報提供等を行う回数は増加した。また、体調不良児対応型は、担当看護師による子育て支援センターでの保健講話や相談支援の実施が定着してきているが、感染症予防から人数制限しての相談支援等を実施してきた結果、相談人数が若干減少している。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">1 病後児対応型</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>年間利用者</th> <th>感染症予防策情報提供等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年度</td> <td>143人</td> <td>92回</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>72人</td> <td>165回</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>119人</td> <td>66回</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">2 体調不良児対応型</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>年間利用者</th> <th>相談支援等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年度</td> <td>213人</td> <td>308人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>224人</td> <td>230人</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>309人</td> <td>184人</td> </tr> </tbody> </table>					1 病後児対応型			年度	年間利用者	感染症予防策情報提供等	R元年度	143人	92回	R2年度	72人	165回	R3年度	119人	66回	2 体調不良児対応型			年度	年間利用者	相談支援等	R元年度	213人	308人	R2年度	224人	230人	R3年度	309人
1 病後児対応型																																		
年度	年間利用者	感染症予防策情報提供等																																
R元年度	143人	92回																																
R2年度	72人	165回																																
R3年度	119人	66回																																
2 体調不良児対応型																																		
年度	年間利用者	相談支援等																																
R元年度	213人	308人																																
R2年度	224人	230人																																
R3年度	309人	184人																																
成果に係る評価	本事業の開始以降、事業の周知を継続的に図りつつ、病後児保育対応型は、対象児童を市内に住所を有している児童等に広げるなど、保護者が安心して子育てができる環境の整備に努めており、一定の成果を残すことができている。 令和4年度も、事前登録におけるオンライン登録をさらに強化し、コロナ禍における状況に留意し、推進を図っていく。																																	
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	9,487,000	9,197,250	6,130,000			3,067,250																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する	
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	子ども・子育て支援事業費		
実施計画掲載ページ	P75		事 業 名	小学校入学祝金支給事業		
目的及び事業内容	第2子、第3子を儲ける家庭が減少していることから、人口減少を止めることと子育て家庭が第2子、第3子を安心して産める子育て支援の環境の充実の一つとして第2子以降に入学祝金を支給する。					
取組実績	平成30年度より第2子以降の子どもを持つ保護者に入学祝い金の対象者を拡大して実施している。市報及び市のホームページに掲載して周知を図るとともに、市内各小学校1年生に申請書を配付し、対象者の確実な支給に努めた。					
	【支給状況】					
	年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額	
	H29	162人		162人	4,860,000円	
	H30	157人	346人	503人	15,090,000円	
	R1	180人	369人	549人	16,470,000円	
	R2	203人	405人	608人	18,240,000円	
R3	169人	355人	524人	15,720,000円		
成 果	第2子以降の子で小学校に入学する児童を監護する保護者等に対して、小学校入学祝金として1人につき3万円を支給することによって、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減に一定の成果が図られた。					
成果に係る評価	第2子以降の子で小学校に入学する児童を監護する保護者等に対して、安定した子育てしやすい環境を整えることに寄与している。 また、本事業を継続的に実施することにより少子化対策の一助となっている。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	17,131,000	15,833,661	2,535,000		11,000,000	2,298,661

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																													
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																													
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																													
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	子ども・子育て支援事業費																																																																														
実施計画掲載ページ	P72		事 業 名	ファミリーサポート事業																																																																														
目的及び事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が相互に行う育児援助活動に対し、その活動を支援することにより安心して子育てができる環境づくりを推進する。</li> <li>仕事と家庭の両立や保護者の急用等により子ども(市内在住で概ね生後2ヶ月から小学6年生)を預かってほしい場合に、石巻市ファミリーサポートセンターへ登録した会員同士がそれぞれの信頼のもとに相互援助活動を行う。</li> </ul>																																																																																	
取組実績	1 事業委託先 特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻																																																																																	
	2 事務局開局日及び体制 月曜日から土曜日 午前9時～午後4時 3名のアドバイザー配置																																																																																	
	3 会員数																																																																																	
		R1年度	R2年度	R3年度																																																																														
	(1) 協力会員	85人	86人	94人																																																																														
(2) 利用会員	343人	380人	446人																																																																															
(3) 両方会員	68人	68人	73人																																																																															
4 利用件数	1,591件																																																																																	
5 協力会員の研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規協力会員の初回研修 3回</li> <li>既協力会員のステップアップ研修 2回</li> </ul>																																																																																	
6 事業PRの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報の発行 3回</li> </ul>																																																																																	
成 果	<p>民間事業者による広報活動や利用しやすい体制強化により、会員登録数は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用会員が利用を控えているため、利用件数は減少した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">利用件数</td> <td colspan="3">成果指標</td> </tr> <tr> <td>項 目</td> <td>R1年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>区 分</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>達成率等</td> </tr> <tr> <td>仕事(仕事復帰準備含む)</td> <td>514件</td> <td>410件</td> <td>472件</td> <td>R1</td> <td>1,500件</td> <td>1,763件</td> <td>118%</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の送り</td> <td>232件</td> <td>340件</td> <td>1件</td> <td>R2</td> <td>1,770件</td> <td>2,411件</td> <td>136%</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の迎え</td> <td>166件</td> <td>216件</td> <td>61件</td> <td>R3</td> <td>2,500件</td> <td>1,591件</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>小学校への送迎</td> <td>4件</td> <td>155件</td> <td>3件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者の外出の際の援助</td> <td>58件</td> <td>170件</td> <td>196件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブの迎え</td> <td>79件</td> <td>509件</td> <td>440件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>710件</td> <td>611件</td> <td>418件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,763件</td> <td>2,411件</td> <td>1,591件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					利用件数		成果指標			項 目	R1年度	R2年度	R3年度	区 分	目標値	実績値	達成率等	仕事(仕事復帰準備含む)	514件	410件	472件	R1	1,500件	1,763件	118%	保育所・幼稚園の送り	232件	340件	1件	R2	1,770件	2,411件	136%	保育所・幼稚園の迎え	166件	216件	61件	R3	2,500件	1,591件	64%	小学校への送迎	4件	155件	3件					保護者の外出の際の援助	58件	170件	196件					放課後児童クラブの迎え	79件	509件	440件					その他	710件	611件	418件					合 計	1,763件	2,411件	1,591件				
利用件数		成果指標																																																																																
項 目	R1年度	R2年度	R3年度	区 分	目標値	実績値	達成率等																																																																											
仕事(仕事復帰準備含む)	514件	410件	472件	R1	1,500件	1,763件	118%																																																																											
保育所・幼稚園の送り	232件	340件	1件	R2	1,770件	2,411件	136%																																																																											
保育所・幼稚園の迎え	166件	216件	61件	R3	2,500件	1,591件	64%																																																																											
小学校への送迎	4件	155件	3件																																																																															
保護者の外出の際の援助	58件	170件	196件																																																																															
放課後児童クラブの迎え	79件	509件	440件																																																																															
その他	710件	611件	418件																																																																															
合 計	1,763件	2,411件	1,591件																																																																															
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、特に学校等への送迎の利用控えが見られたが、民間事業者による広報活動の充実や協力会員のなり手不足解消に努め、利用しやすい体制の強化が図られた。利用者の中には、複雑な問題を抱えている場合もあるため、協力会員の研修の強化、利用会員と協力会員の丁寧なマッチングなどにより、今後も継続的に本事業の推進を図っていく。</p>																																																																																	
(単位：円)																																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	5,103,000	5,054,627	3,368,000			1,686,627																																																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																												
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																												
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																												
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	子ども・子育て支援事業費																													
実施計画掲載ページ	P74		事 業 名	助産師による産前産後「心とからだのトータルケア」推進事業																													
目的及び事業内容	妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごし、子育てできることを目的とする。																																
取組実績	<p>妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごせるよう妊産婦に対し支援を行った。ささえあいセンター内のNPO法人やっぺすに委託している。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業 会場：ささえあいセンターいっしょえきまえ内 内容：妊婦向け講座 出産準備の講話や、沐浴体験・妊婦体験等を通して子育てについて学ぶ。</p> <p>2 妊産婦相談（対面相談・オンライン相談） 会場：ささえあいセンターいっしょえきまえ内 内容：母乳育児等の個別相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 妊娠・出産・子育てに関する講座</td> <td>11回</td> <td>147人</td> <td>7回</td> <td>48人</td> <td>13回</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>2 妊産婦相談</td> <td>46回</td> <td>130人</td> <td>44回</td> <td>69人</td> <td>62回</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	R1		R2		R3		実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	1 妊娠・出産・子育てに関する講座	11回	147人	7回	48人	13回	63人	2 妊産婦相談	46回	130人	44回	69人	62回	60人
事業名	R1		R2		R3																												
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数																											
1 妊娠・出産・子育てに関する講座	11回	147人	7回	48人	13回	63人																											
2 妊産婦相談	46回	130人	44回	69人	62回	60人																											
成 果	<p>助産師の専門性を活かした妊婦向け講座と妊産婦相談については継続して実施することで、妊娠期から子育て期に関する知識を習得することができた。事業終了時には、アンケートを実施し、集計結果から子育てに関して関心が高い結果となった。</p> <p>【助産師による相談や講座の参加者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>520人</td> <td>277人</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>520人</td> <td>117人</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>520人</td> <td>123人</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R1	520人	277人	53%	R2	520人	117人	23%	R3	520人	123人	24%									
区分	成果指標		達成率等																														
	目標値	実績等																															
R1	520人	277人	53%																														
R2	520人	117人	23%																														
R3	520人	123人	24%																														
成果に係る評価	産院等による妊産婦向け学級は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しているが、妊娠期から助産師による専門相談及び講座を受けることで知識を獲得し子育て期を安心して過ごすことができることに寄与している。また、感染予防の観点から少人数で回数を増やして対応し、子育て世代包括支援センター事業に包含して行うことで、妊娠期からより切れ目のない支援になっているため、さらに、その機能を充実させていく。																																
予算の執行状況	(単位：円)																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	1,348,000	1,348,000	674,000			674,000																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち											
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実											
	1 目	児童福祉総務費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する											
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	子ども・子育て支援事業費												
実施計画掲載ページ	P76		事 業 名	育児ヘルパー事業												
目的及び事業内容	核家族や子育てを手伝ってくれる人がいない等の子育て家庭に対し、ヘルパー等による派遣を行い、家事支援及び育児支援により、安心して子どもを生み育てられる環境を整備する。															
取組実績	<p>妊娠期（母子手帳交付後）から生後6か月以内の子を養育する者に対し、ヘルパーの訪問による家事支援や育児支援を行った。</p> <p>1 育児ヘルパー事業 (1)家事支援 調理、洗濯、住居内の清掃、生活必需品の買い物等 (2)育児支援 おむつ交換、衣服の着脱、授乳、沐浴の介助等 (3)提供時間 1回につき2時間以内 (午前9時から午後5時まで。土日祝日、年末年始を除く。) (4)提供回数 20回以内（多胎の場合は、30回以内）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 (9月から開始)</td> <td>34件</td> </tr> </tbody> </table>						区分	申請件数	R3 (9月から開始)	34件						
区分	申請件数															
R3 (9月から開始)	34件															
成 果	<p>育児や家事などの支援を実施することにより、子育てに孤立を感じ不安を抱える保護者の問題解決に繋がった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標 (申請件数)</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 (9月から開始)</td> <td>35件</td> <td>34件</td> <td>97%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標 (申請件数)		達成率等	目標値	実績等	R3 (9月から開始)	35件	34件	97%
区分	成果指標 (申請件数)		達成率等													
	目標値	実績等														
R3 (9月から開始)	35件	34件	97%													
成果に係る評価	年度途中の事業開始であったが、利用実績は見込み通りであった。利用者からのアンケートにより大変好評を得ており、安心して子どもを産み育てられる環境の整備が図られた。また、産後うつや家族問題等により、引き続き支援を必要とする者に対しては、関係課と連携し継続的な支援を実施することで安定した養育体制が図られた。今後は、産科医院等の関係機関との連携強化や事業周知を図り、多くの妊産婦の利用向上に努めたい。															
予算の執行状況	(単位：円)															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	4,050,000	1,281,707	854,000			427,707										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																		
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																		
	2 目	児童手当費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																		
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	児童手当費																			
実施計画掲載ページ	P71		事 業 名	児童手当支給事業																			
目的及び事業内容	<p>中学校修了前の児童を養育している保護者に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。</p> <p>3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円  小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円  所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																						
取組実績	<p>【令和3年度支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>2,465人</td> <td>25,515,000円</td> </tr> <tr> <td>定例払</td> <td>162,406人</td> <td>1,786,120,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>164,871人</td> <td>1,811,635,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定例払・・・2月、6月、10月（前月までの4か月分を支給）  随時払・・・定例払の月を除く各月（資格喪失者等）</p>						支給対象延べ人数	支給総額	随時払	2,465人	25,515,000円	定例払	162,406人	1,786,120,000円	計	164,871人	1,811,635,000円						
	支給対象延べ人数	支給総額																					
随時払	2,465人	25,515,000円																					
定例払	162,406人	1,786,120,000円																					
計	164,871人	1,811,635,000円																					
成 果	<p>児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象延児童数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>187,098人</td> <td>2,064,210,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>181,387人</td> <td>1,995,510,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>175,592人</td> <td>1,928,295,000円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>169,827人</td> <td>1,867,325,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>164,871人</td> <td>1,811,635,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	支給対象延児童数	支給総額	H29	187,098人	2,064,210,000円	H30	181,387人	1,995,510,000円	R1	175,592人	1,928,295,000円	R2	169,827人	1,867,325,000円	R3	164,871人	1,811,635,000円
年度	支給対象延児童数	支給総額																					
H29	187,098人	2,064,210,000円																					
H30	181,387人	1,995,510,000円																					
R1	175,592人	1,928,295,000円																					
R2	169,827人	1,867,325,000円																					
R3	164,871人	1,811,635,000円																					
成果に係る評価	<p>対象児童数の減少により支給額は減少傾向にある。少子化が問題となっている現在、子育てしやすい環境づくりや社会形成が喫緊の課題となっており、当事業はその一助を担っている。今後も国の動向を踏まえて情報の発信と適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図る必要がある。</p>																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	1,833,235,000	1,811,635,000	1,531,138,664			280,496,336																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																				
	3 目	児童扶養手当費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																				
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	児童扶養手当費																																					
実施計画掲載ページ	P72		事 業 名	児童扶養手当支給事業																																					
目的及び事業内容	<p>父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、児童の福祉の向上を図る。</p>																																								
取組実績	<p>1 支給要件  下記に該当する児童を養育している者（父、母又は養育者）に支給される。  ・父母が婚姻を解消、又は死亡した児童  ・婚姻によらず未婚で出生した児童  ・父又は母が政令で定める程度の障害にある児童 など</p> <p>2 手当額 R2.4月～  全部支給 43,160円 一部支給 43,150円～10,180円  2人目 全部支給 10,190円 一部支給 10,180円～ 5,100円  3人目以降 全部支給 6,110円 一部支給 6,100円～ 3,060円  ※R3年度は月額改定無し</p> <p>3 児童扶養手当支給の実施  父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭に支給した。  支給対象者 1,224人、支給額 674,633,910円</p> <p>4 現況届の実施  児童扶養手当受給者の前年所得、認定後の資格要件及び生活状況の確認を行った。</p>																																								
成 果	<p>父又は母と生計を同じくしていない児童について児童扶養手当を支給することにより、家庭生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> <th>支給対象月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,436人</td> <td>2,126人</td> <td>765,328,750円</td> <td>H28年12月からH29年11月</td> <td>12か月分</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,407人</td> <td>2,079人</td> <td>729,148,250円</td> <td>H29年12月からH30年11月</td> <td>12か月分</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,344人</td> <td>1,998人</td> <td>905,463,220円</td> <td>H30年12月からR2年2月</td> <td>15か月分</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,273人</td> <td>1,943人</td> <td>707,283,970円</td> <td>R2年3月からR3年2月</td> <td>12か月分</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,224人</td> <td>1,871人</td> <td>674,633,910円</td> <td>R3年3月からR4年2月</td> <td>12か月分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は児童扶養手当法の改正による支払回数及び対象月の改定のため、15か月分を支給した。</p>					年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	支給対象月		H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H28年12月からH29年11月	12か月分	H30	1,407人	2,079人	729,148,250円	H29年12月からH30年11月	12か月分	R1	1,344人	1,998人	905,463,220円	H30年12月からR2年2月	15か月分	R2	1,273人	1,943人	707,283,970円	R2年3月からR3年2月	12か月分	R3	1,224人	1,871人	674,633,910円	R3年3月からR4年2月	12か月分
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	支給対象月																																					
H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H28年12月からH29年11月	12か月分																																				
H30	1,407人	2,079人	729,148,250円	H29年12月からH30年11月	12か月分																																				
R1	1,344人	1,998人	905,463,220円	H30年12月からR2年2月	15か月分																																				
R2	1,273人	1,943人	707,283,970円	R2年3月からR3年2月	12か月分																																				
R3	1,224人	1,871人	674,633,910円	R3年3月からR4年2月	12か月分																																				
成果に係る評価	<p>支給対象者数は人口減少の影響等により減少傾向にある。経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭等の生活安定と福祉の増進を図るため、引き続き国の動向を注視する必要がある。</p>																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	690,546,000	674,633,910	223,790,923			450,842,987																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																														
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																														
	4 目	母子福祉費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																														
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	母子・父子家庭医療助成費																															
実施計画掲載ページ	P72		事 業 名	母子・父子家庭医療対策事業																															
目的及び事業内容	<p>母子及び父子家庭に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。  入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。）  外来の場合 1レセプト 1,000円  ※所得制限あり</p>																																		
取組実績	<p>1 助成対象者  ・母子・父子家庭の母、父及び児童  ・父母のいずれかが重度障害により就労困難な家庭の母、父及び児童  ・父母のいない児童など</p> <p>2 助成件数 9,930件</p> <p>3 助成金額 27,790,438円</p>																																		
成 果	<p>母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所得制限内 受給世帯数</th> <th>所得制限内 受給者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,580世帯</td> <td>3,885人</td> <td>9,142件</td> <td>24,593,327円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,459世帯</td> <td>3,410人</td> <td>10,449件</td> <td>28,107,208円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,404世帯</td> <td>3,325人</td> <td>10,841件</td> <td>28,291,526円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,367世帯</td> <td>3,251人</td> <td>10,177件</td> <td>28,596,517円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,251世帯</td> <td>2,997人</td> <td>9,930件</td> <td>27,790,438円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	所得制限内 受給世帯数	所得制限内 受給者数	助成件数	助成金額	H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円	H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円	R1	1,404世帯	3,325人	10,841件	28,291,526円	R2	1,367世帯	3,251人	10,177件	28,596,517円	R3	1,251世帯	2,997人	9,930件	27,790,438円
年度	所得制限内 受給世帯数	所得制限内 受給者数	助成件数	助成金額																															
H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円																															
H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円																															
R1	1,404世帯	3,325人	10,841件	28,291,526円																															
R2	1,367世帯	3,251人	10,177件	28,596,517円																															
R3	1,251世帯	2,997人	9,930件	27,790,438円																															
成果に係る評価	<p>受給者数は人口減少の影響等により減少傾向にある。受給者数は減少しているが、1人当たりの医療費が増加傾向となっている。  今後も医療費助成を実施することにより母子・父子家庭の経済的負担の軽減に寄与し、生活の安定と福祉の増進を図りたい。</p>																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																		
予算額	31,529,000	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		30,704,885	13,895,000			16,809,885																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																															
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																															
	4 目	母子福祉費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																															
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	母子家庭等自立支援給付金事業費																																																																
実施計画掲載ページ	P75		事 業 名	ひとり親家庭等自立支援事業																																																																
目的及び事業内容	<p>ひとり親家庭等の親（母子家庭の母又は父子家庭の父）の経済的な自立を促進するため、就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格を取得するための教育訓練受講等に係る経費について支援する。  1 自立支援教育訓練給付金  2 高等職業訓練促進給付金  3 高等職業訓練修了支援給付金  4 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</p>																																																																			
取組実績	<p>支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>指定講座等の主な内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>5件</td> <td>149,268円</td> <td>登録販売者・調剤薬局事務 介護福祉士・介護員</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>8件</td> <td>9,954,000円</td> <td>准看護師・社会福祉士・保育士 幼稚園教諭・美容師</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>75,000円</td> <td>准看護師</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	登録販売者・調剤薬局事務 介護福祉士・介護員	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円	准看護師・社会福祉士・保育士 幼稚園教諭・美容師	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円	准看護師	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円																																												
事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳																																																																	
自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	登録販売者・調剤薬局事務 介護福祉士・介護員																																																																	
高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円	准看護師・社会福祉士・保育士 幼稚園教諭・美容師																																																																	
高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円	准看護師																																																																	
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円																																																																		
成 果	<p>制度の周知に加え、ひとり親自身の自立への意識の高まりが大きく影響している。これら受講者に対し、経済的負担の軽減を図ることができ、ひとり親家庭の自立支援と福祉の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>6件</td> <td>322,186円</td> <td rowspan="3">7,643,186円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>7件</td> <td>7,146,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>4件</td> <td>175,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>5件</td> <td>275,184円</td> <td rowspan="3">10,370,684円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>11件</td> <td>9,895,500円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>4件</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>4件</td> <td>138,000円</td> <td rowspan="3">7,431,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>8件</td> <td>7,268,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>1件</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R2</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>3件</td> <td>139,813円</td> <td rowspan="4">8,006,813円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>7件</td> <td>7,667,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>5件</td> <td>149,268円</td> <td rowspan="3">10,178,268円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>8件</td> <td>9,954,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>75,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業名	支給件数	支給額	合計	H29	自立支援教育訓練給付金	6件	322,186円	7,643,186円	高等職業訓練促進給付金	7件	7,146,000円	高等職業訓練修了支援給付金	4件	175,000円	H30	自立支援教育訓練給付金	5件	275,184円	10,370,684円	高等職業訓練促進給付金	11件	9,895,500円	高等職業訓練修了支援給付金	4件	200,000円	R1	自立支援教育訓練給付金	4件	138,000円	7,431,000円	高等職業訓練促進給付金	8件	7,268,000円	高等職業訓練修了支援給付金	1件	25,000円	R2	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	8,006,813円	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円	R3	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	10,178,268円	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円
年度	事業名	支給件数	支給額	合計																																																																
H29	自立支援教育訓練給付金	6件	322,186円	7,643,186円																																																																
	高等職業訓練促進給付金	7件	7,146,000円																																																																	
	高等職業訓練修了支援給付金	4件	175,000円																																																																	
H30	自立支援教育訓練給付金	5件	275,184円	10,370,684円																																																																
	高等職業訓練促進給付金	11件	9,895,500円																																																																	
	高等職業訓練修了支援給付金	4件	200,000円																																																																	
R1	自立支援教育訓練給付金	4件	138,000円	7,431,000円																																																																
	高等職業訓練促進給付金	8件	7,268,000円																																																																	
	高等職業訓練修了支援給付金	1件	25,000円																																																																	
R2	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	8,006,813円																																																																
	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円																																																																	
	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円																																																																	
	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円																																																																	
R3	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	10,178,268円																																																																
	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円																																																																	
	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円																																																																	
成果に係る評価	<p>自立支援教育訓練給付金、及び高等職業訓練促進給付金の給付状況については、増加傾向にある。より多くのひとり親の経済的自立と福祉の増進が図られるよう、事業の周知に努め、今後も本事業の一層の利用拡大を図っていく。</p>																																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																																			
予算額	11,039,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
		10,178,268	7,632,000			2,546,268																																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																			
	5 目	保育所費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																			
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	保育所管理費																																				
実施計画掲載ページ	P77		事 業 名	延長保育事業																																				
目的及び事業内容	保護者の就労形態の多様化等により、保育時間延長の需要に対応するため、保育所及びこども園で保育時間の延長を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備し、家庭及び児童の福祉の向上を図る。																																							
取組実績	<p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度により、保育の時間が、保育短時間（午前8時30分から午後4時30分まで）と保育標準時間（午前7時30分から午後6時30分まで）の2区分となった。そのため、午前7時30分から午前8時30分までの1時間と午後4時30分から午後6時30分までの2時間が時間外保育となり、午後6時30分から午後7時までを延長保育という取り扱いになった。令和3年度は、公立保育所25施設で、時間外保育を実施し、延長保育については、1施設（蛇田保育所）で実施した。※延長保育については蛇田保育所、鹿又保育所、須江保育所を実施保育所としているが、鹿又保育所、須江保育所は保育士不足のため事業休止した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3年度</th> <th>施設数</th> <th>時間外保育</th> <th>延長保育</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立保育所</td> <td>25</td> <td>401人</td> <td>11人</td> <td>412人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移（実利用人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外保育</td> <td>533人</td> <td>603人</td> <td>455人</td> <td>401人</td> <td>353人</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>21人</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>554人</td> <td>618人</td> <td>468人</td> <td>413人</td> <td>368人</td> </tr> </tbody> </table>						R3年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計	公立保育所	25	401人	11人	412人		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	時間外保育	533人	603人	455人	401人	353人	延長保育	21人	15人	13人	12人	15人	合計	554人	618人	468人	413人	368人
R3年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計																																				
公立保育所	25	401人	11人	412人																																				
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度																																			
時間外保育	533人	603人	455人	401人	353人																																			
延長保育	21人	15人	13人	12人	15人																																			
合計	554人	618人	468人	413人	368人																																			
成 果	時間外保育及び延長保育についてはいずれも利用人数は減少しており、主な理由は保育の無償化に伴い、保育時間を保育短時間から保育標準時間に変更する世帯が増えたため、時間外保育を利用する世帯が減少したものであるが、保育時間の延長を実施することにより、保護者が安心して就労するための環境を整え、保護者及び児童の福祉の向上を図ることができた。																																							
成果に係る評価	保護者の就労形態の多様化等に伴い、やむを得ない理由により、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされており、安心して子育てができる環境を整備し、保護者及び児童の福祉の向上を図るため、今後も時間外保育及び延長保育の継続的な実施が必要である。現在、保育士不足により、延長保育は1施設のみで実施しているが、保育士の確保に努めながら、延長保育実施施設の拡充を図っていく。																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																							
予算額	5,830,302	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
		5,830,302			2,301,300	3,529,002																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	
	5 目	保育所費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する	
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	(仮称)河北統合保育所施設整備事業費		
実施計画掲載ページ	P79		事 業 名	(仮称)河北統合保育所施設整備事業		
目的及び事業内容	平成30年3月に策定した「石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」により、大川保育所、大谷地保育所、二保保育所の3保育所を統廃合し、公立保育所の建設を進める。 ・令和5年4月開所予定 ・施設規模は70人定員（0歳から5歳児までを受け入れるほか、障害児保育も実施する。） ・場 所 石巻市小船越字後223番2 ・土地面積 6,153.66㎡ ・建物面積 991.77㎡					
取組実績	(仮称)河北統合保育所の令和5年4月の開所に向けて、造成工事や本体工事の契約を行った。					
取組実績	(単位：円)					
	項目		実施期間	事業費	備考	
省工本判定手数料				99,000		
造成工事管理業務		令和3年9月10日～令和4年3月31日		1,296,900		
実施設計業務		令和2年12月9日～令和3年11月30日		16,602,100	繰越明許	
造成工事		令和3年9月29日～令和4年3月31日		48,631,000		
下水道負担金				215,230		
		合計		66,844,230		
その他 (単位：円)						
項目		実施期間	事業費	備考		
建設工事		令和4年2月26日～令和5年2月28日	374,000,000	債務負担行為		
電気工事		令和4年3月1日～令和5年2月28日	77,908,600	債務負担行為		
機械設備工事		令和4年3月1日～令和5年2月28日	100,067,000	債務負担行為		
		合計		551,975,600		
成 果	(仮称)河北統合保育所として整備するため、造成工事を完了し本体工事に着手した。					
成果に係る評価	実施設計に時間を要したが、工期の詳細を調整し予定どおり令和5年4月1日に開所できる見込みとなった。					
予算の執行状況	(単位：円)					
予算額	77,243,000	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		66,844,230			65,902,100	942,130

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実
	6 目	一時保育事業管理費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	一時預かり事業関係費	
実施計画掲載ページ	P77		事 業 名	一時預かり事業	
目的及び事業内容	保育所等を利用していない家庭において、保護者の仕事や入院、通院等突発的な事情により家庭保育が困難な場合に保育施設において、一時的に預かることにより、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。				
取組実績	公立保育所(1施設)及び私立認可保育所(1施設)において、一時預かり事業を実施した。 ※二俣保育所、北村保育所、湊こども園については、保育士不足のため事業休止中				
	実施保育所		1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	令和3年度延利用者数
	公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね10人	380人
	二俣保育所	8時間	おおむね5人	0人	
	北村保育所	8時間	おおむね5人	0人	
	湊こども園	8時間	おおむね10人	0人	
私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,558人	
合 計				1,938人	
※過去5年間の推移					
	年度	延利用者数			
	H29年度	3,189人			
	H30年度	2,466人			
	R1年度	2,558人			
	R2年度	2,556人			
	R3年度	1,938人			
成 果	子育てに伴う保護者の身体的、精神的負担感を緩和し、仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にすることができ、安心して子育てができるような環境を提供し、児童福祉の向上を図ることができた。 しかし、保護者のニーズに対して、事業を十分に実施できない状況であるため、保育士の確保に努め、事業を実施したい。				
成果に係る評価	保育所等を利用していない家庭において、保護者の仕事や入院、通院等突発的な事情により家庭保育が困難な場合に一時的に保育施設で預かる事業であり、需要が高い事業であることから、保育士の確保に努め、事業実施保育施設で引き続き事業を継続し、子育ての負担軽減、安心して子育てができる環境整備を図り、児童福祉の向上を推進する。 また、今後は保護者のニーズ等を勘案し、事業を実施する地域や施設を検討し、事業の充実を図っていく。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	18,933,000	10,349,246	5,136,000		737,000

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	
	7 目	障害児福祉費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する	
担当課	保健福祉部子ども保育課		中 事 業	心身障害児通園支援費		
実施計画掲載ページ	P78		事 業 名	心身障害児通園対策事業		
目的及び事業内容	障害児保育を実施している保育所・こども園及びひかもめ学園(13施設)に通園する児童の保護者に対し、交通費の一部を助成し、保護者の経済的支援を図る。					
取組実績	1 助成内容 ・鉄道又はバス定期券運賃代 ・自家用車ガソリン代					
	1 助成実績(R3) ・鉄道又はバス定期券運賃代 ・自家用車ガソリン代					
		実績なし		助成対象者：32人、 助成額：930,376円		
成 果	障害児保育を実施している保育所・こども園及びひかもめ学園に通園する児童の健全育成と、保護者の経済的負担の軽減が図られた。					
	事業費及び対象者					
	区 分	R1年度		R2年度		R3年度
	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費
かもめ学園	7人	108,978円	8人	95,442円	8人	87,230円
石巻保育所	3人	148,533円	2人	49,113円	3人	47,427円
渡波保育所	—	—	—	—	1人	38,280円
若草保育所	1人	31,901円	3人	91,338円	3人	98,492円
ふたば保育所	2人	44,533円	4人	93,064円	3人	66,848円
鹿妻保育所	1人	50,877円	2人	61,615円	2人	76,549円
水押保育所	2人	41,789円	2人	44,039円	3人	116,667円
井内保育所	—	—	—	—	—	—
飯野川保育所	1人	55,704円	1人	82,539円	1人	91,659円
雄勝保育所	1人	59,239円	1人	51,721円	—	—
和瀬保育所	3人	128,210円	3人	150,825円	2人	106,767円
桃生新田保育所	2人	86,372円	2人	80,405円	2人	37,620円
橋浦保育所	2人	74,644円	—	—	—	—
北上こども園	—	—	2人	45,188円	2人	66,329円
牡鹿保育所	—	—	1人	35,800円	2人	96,508円
合 計	25人	830,780円	31人	881,089円	32人	930,376円
成果に係る評価	障害児の受入れ施設が限られており、居住地から離れている施設を利用している児童保護者が多く、その経済的負担を軽減することで通園しやすい環境を整え、障害児の成長発達を支援し、福祉の増進にもつながることから事業の継続が必要である。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000,000	930,376				930,376

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																														
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																														
	8 目	児童厚生施設費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																														
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	放課後児童クラブ関係費																															
実施計画掲載ページ	P78		事 業 名	放課後児童クラブ事業																															
目的及び事業内容	保護者の就労等により、日中保育ができない小学生を対象に、放課後等における遊びと生活の場として放課後児童クラブを開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。																																		
取組実績	1 市内48か所に整備した児童クラブで、放課後家庭において保育ができない小学生の受け入れを行った。 利用児童数（令和4年3月1日現在）																																		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>石巻地区</td> <td>河北地区</td> <td>河南地区</td> <td>桃生地区</td> <td>北上地区</td> <td>牡鹿地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,332人</td> <td>131人</td> <td>265人</td> <td>62人</td> <td>24人</td> <td>5人</td> <td>1,819人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> </tr> </table>						石巻地区	河北地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計	利用児童数	1,332人	131人	265人	62人	24人	5人	1,819人	待機児童数	0人	1人	0人	4人	0人	0人	5人						
	石巻地区	河北地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計																												
利用児童数	1,332人	131人	265人	62人	24人	5人	1,819人																												
待機児童数	0人	1人	0人	4人	0人	0人	5人																												
成 果	2 放課後児童クラブ支援員等の質の向上対策 クラブの適正な運営や支援員等の質の向上を図るため、作業療法士と連携（業務委託）し、日常生活や集団生活で配慮を必要とする児童への対応方法について学ぶ機会を設けた。																																		
	1 全48の施設を活用し、利用希望児童を受け入れたことで、日中保育ができない家庭の児童の健全育成が図られた。  児童クラブ設置数・利用児童数・待機児童数一覧（各年度4月1日現在）																																		
成果に係る評価	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> <td>R元年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>設置数</td> <td>45施設</td> <td>47施設</td> <td>48施設</td> <td>48施設</td> <td>48施設</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>2,225人</td> <td>2,263人</td> <td>2,355人</td> <td>2,365人</td> <td>2,365人</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,983人</td> <td>2,044人</td> <td>2,079人</td> <td>2,127人</td> <td>1,985人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>51人</td> <td>87人</td> <td>95人</td> <td>171人</td> <td>36人</td> </tr> </table>						H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	設置数	45施設	47施設	48施設	48施設	48施設	定員	2,225人	2,263人	2,355人	2,365人	2,365人	利用児童数	1,983人	2,044人	2,079人	2,127人	1,985人	待機児童数	51人	87人	95人	171人	36人
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																													
設置数	45施設	47施設	48施設	48施設	48施設																														
定員	2,225人	2,263人	2,355人	2,365人	2,365人																														
利用児童数	1,983人	2,044人	2,079人	2,127人	1,985人																														
待機児童数	51人	87人	95人	171人	36人																														
成果に係る評価	2 支援員等研修の一環とした作業療法士連携事業により、対応方法の習得等が図られた。また、その他の各種研修に参加し支援員等の質の向上も図られた。  作業療法士によるコンサルテーション実施状況																																		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">R2年度</td> <td colspan="2">R3年度</td> </tr> <tr> <td>実施クラブ、回数</td> <td colspan="2">鹿妻第三、桃生第二 各3回</td> <td colspan="2">鹿妻第一、第二、開北第一、湊、万石浦第一、北村 各3回</td> </tr> </table>						R2年度		R3年度		実施クラブ、回数	鹿妻第三、桃生第二 各3回		鹿妻第一、第二、開北第一、湊、万石浦第一、北村 各3回																					
	R2年度		R3年度																																
実施クラブ、回数	鹿妻第三、桃生第二 各3回		鹿妻第一、第二、開北第一、湊、万石浦第一、北村 各3回																																
成果に係る評価	待機児童数が大幅に減少したが、依然として待機児童解消には至っていない状況にある。このような状況に加え、開設時間の延長、学習指導など、多様なニーズにも柔軟に対応し、更なる質の向上を図るために民間委託を推進しながら、事業を継続していく。また、令和2年度から開始した作業療法士との連携事業についても、実施クラブ数を増やすことで、児童への対応方法等の習得や援助の仕方を学び、支援員等の質の向上を図ることに寄与した。																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	317,409,000	298,652,889	152,726,000	41,854,500	104,072,389																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																				
	8 目	児童厚生施設費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																				
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事 業	放課後児童クラブ関係費																																					
実施計画掲載ページ	P78		事 業 名	放課後児童健全育成事業補助事業																																					
目的及び事業内容	放課後における児童の健全育成を図るため、石巻市では48箇所の放課後児童クラブを開設しているところであるが、放課後児童健全育成事業を実施する事業者に対し、補助金を交付することで、事業を安定的に実施することができ、市が行う放課後児童クラブでは対応できない保育のニーズへの対応を図る。																																								
取組実績	1 民間事業者が行う放課後児童健全育成事業について、令和2年度に事業内容を見直す要綱改正を行ったため、令和3年度においては、民間事業者への改正内容の周知を徹底し、充実した事業が図られた。																																								
	2 補助金交付対象事業者																																								
成 果	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> <td>R元年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>補助金交付事業者</td> <td>○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人にじいろクレヨン</td> <td>○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen</td> <td>○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</td> <td>○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</td> <td>○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク ○株式会社アトムズ</td> </tr> </table>					年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	補助金交付事業者	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人にじいろクレヨン	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク ○株式会社アトムズ																								
	年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																																			
補助金交付事業者	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人にじいろクレヨン	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク	○特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen ○特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク ○株式会社アトムズ																																				
成果に係る評価	民間事業者への支援の拡充と継続をしたことにより、安定的な放課後児童健全育成事業の運営が図られるとともに、利用児童受入の拡大と幅広いニーズへの対応が図られた。																																								
	補助金交付状況 (単位：円)																																								
成果に係る評価	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> <td>R元年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen</td> <td>1,968,000</td> <td>2,103,000</td> <td>2,512,000</td> <td>4,553,000</td> <td>5,885,000</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人にじいろクレヨン</td> <td>2,163,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</td> <td></td> <td></td> <td>2,031,000</td> <td>3,076,000</td> <td>6,046,000</td> </tr> <tr> <td>株式会社アトムズ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,258,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,131,000</td> <td>2,103,000</td> <td>4,543,000</td> <td>7,629,000</td> <td>14,189,000</td> </tr> </table>					年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen	1,968,000	2,103,000	2,512,000	4,553,000	5,885,000	特定非営利活動法人にじいろクレヨン	2,163,000					特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク			2,031,000	3,076,000	6,046,000	株式会社アトムズ					2,258,000	合計	4,131,000	2,103,000	4,543,000	7,629,000	14,189,000
	年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																																			
特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen	1,968,000	2,103,000	2,512,000	4,553,000	5,885,000																																				
特定非営利活動法人にじいろクレヨン	2,163,000																																								
特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク			2,031,000	3,076,000	6,046,000																																				
株式会社アトムズ					2,258,000																																				
合計	4,131,000	2,103,000	4,543,000	7,629,000	14,189,000																																				
成果に係る評価	放課後児童健全育成事業を実施する団体に対し、補助金を交付することで、事業が安定的に行うことができるとともに、市が行う放課後児童クラブでは対応できない保育のニーズに対応し、待機児童解消の一助となった。今後、放課後児童健全育成事業を行う団体を掘り起こし、受け皿を確保する必要がある。																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	17,236,000	14,189,000	9,458,000		4,731,000																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	3 項	児童福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																				
	8 目	児童厚生施設費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																				
担当課	保健福祉部子育て支援課		中 事業	子どもセンター管理費																																					
実施計画掲載ページ	P73		事業名	子どもセンター事業																																					
目的及び事業内容	児童に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を与え、その健康を増進し、子どもたちの声を運営に反映させるとともに、子どもの社会参加の推進を図るため、遊び・学び・集う場を提供する。あわせて子育て支援サークルや子育て中の保護者の交流を推進し、子育て環境の充実に寄与する。また、運動を主とする遊びを通して児童の体力増進や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づく児童の社会参加を推進する事業を実施する。																																								
取組実績	<p>1 開設日：祝日及び年末年始、毎月第1、3木曜日を除く毎日</p> <p>2 開設時間：午前9時30分～午後7時（小学生以下は午後5時まで※保護者等の同伴は除く。）</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 遊び場・居場所の提供 …… 開設日数 308日</p> <p>(2) 定期開催事業・イベント …… 開催回数 258回（定期開催、行事、子ども企画）</p> <p>(3) 子育て支援関係者の団体利用・利用団体数 35団体</p> <p>4 指定管理制度の導入 指定管理者 いしのまき子どもセンターコンソーシアム 指定期間 平成30年度～令和4年度</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 休館中の取組み（オンライン、もしもしらいつ、どこでもらいつなど）</p> <p>(2) 子ども実行委員企画イベント（夏祭り、石巻ハロウィン祭りなど）</p> <p>(3) 社会参加促進活動</p> <p>ア 意見交換会（まきトーク…東日本大震災から10年、「夢のまちプラン」を改めて作成）</p> <p>イ 子どもまちづくりクラブ（「防災・震災伝承」をテーマにした活動に取り組んだ）</p> <p>(4) 地域連携・協働活動</p> <p>ア お茶っこらいつ（誰でも気軽に参加でき、地域の方々と話す機会を提供）</p> <p>イ 移動児童館（らいつに来ることのできない地域の子どもたちに遊び場提供）（蛇田地区）</p>																																								
成果	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら事業を継続し、SNSを活用し、オンライン（YouTube生配信企画）や遊びの動画配信、どこでもらいつ（Zoomによる交流）を昨年度に引き続き行った。また、もしもしらいつ（電話やLINEでの相談）のほか、らいつでおさんぽなどにより、子どもたちがつながる場、参加する場を確保することができた。</p> <p>また、東日本大震災から10年ということで、「夢のまちプラン」を改めて作成したり、防災・震災伝承をテーマにした活動に取り組むなど、子どもたちが意見を出し合い、未来の石巻市を考える機会となった。</p> <p>利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般来館</td> <td>19,170人</td> <td>19,404人</td> <td>16,980人</td> <td>11,719人</td> <td>13,821人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>4,930人</td> <td>6,371人</td> <td>5,428人</td> <td>3,059人</td> <td>3,093人</td> </tr> <tr> <td>団体利用</td> <td>2,406人</td> <td>1,270人</td> <td>1,904人</td> <td>193人</td> <td>282人</td> </tr> <tr> <td>見学</td> <td>411人</td> <td>677人</td> <td>276人</td> <td>192人</td> <td>219人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26,917人</td> <td>27,722人</td> <td>24,588人</td> <td>15,163人</td> <td>17,415人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	H29	H30	R1	R2	R3	一般来館	19,170人	19,404人	16,980人	11,719人	13,821人	定期事業・イベント	4,930人	6,371人	5,428人	3,059人	3,093人	団体利用	2,406人	1,270人	1,904人	193人	282人	見学	411人	677人	276人	192人	219人	合計	26,917人	27,722人	24,588人	15,163人	17,415人
区 分	H29	H30	R1	R2	R3																																				
一般来館	19,170人	19,404人	16,980人	11,719人	13,821人																																				
定期事業・イベント	4,930人	6,371人	5,428人	3,059人	3,093人																																				
団体利用	2,406人	1,270人	1,904人	193人	282人																																				
見学	411人	677人	276人	192人	219人																																				
合計	26,917人	27,722人	24,588人	15,163人	17,415人																																				
成果に係る評価	<p>石巻市内で活動する2団体によって構成されたコンソーシアムが指定管理を行って4年目となり、多様化する住民ニーズや子育て支援への専門性への対応に対し、コンソーシアムの強みを生かして、地域団体や施設、学校等と連携した取組みがなされている。</p> <p>また、新型コロナによる休館中の取組みも、昨年度に引き続き、子どもに寄り添った対応が速やかに実現できている。</p> <p>子どもセンターは、子どもの権利を柱に子どもが主体的に企画、活動することを重視しているが、「夢のまちプラン」や「防災マップ」の作成などを通じて、子どもの意見と自主性を重んじた運営がなされており、子どもたちの居場所として重要な施設となっていることから、事業を継続する必要がある。</p>																																								
予算の執行状況	（単位：円）																																								
予算額	30,194,000	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
		29,907,910	14,136,000			15,771,910																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																
	4 項	生活保護費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																
	2 目	扶助費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																																
担当課	保健福祉部保護課		中 事業	各種扶助費																																																	
実施計画掲載ページ	P71		事業名	生活保護事業																																																	
目的及び事業内容	生活に困窮する市民に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的として生活保護事業を実施する。																																																				
取組実績	<p>本事業の目的を達成するため、下記のとおり取り組んだ。</p> <p>1 生活保護事業</p> <p>(1) 実施体制：所長1名、査察指導員2名、現業員13名、医療・介護扶助担当者1名、経理担当1名、就労支援員2名、レセプト点検員2名、嘱託医1名</p> <p>(2) 取組内容</p> <p>ア 新規相談の受理 406世帯（延べ526回）</p> <p>イ 新規申請の受理 241世帯</p> <p>ウ 保護の新規開始 205世帯（277名）</p> <p>エ 就労支援の実施 48名（うち23名が就労に至った）</p> <p>オ 後発医薬品の利用促進 後発医薬品利用率 90.2%</p>																																																				
成果	<p>保護が必要な世帯に対し、国が定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることができた。</p> <p>1 年度ごとの被保護世帯数等（年度平均数値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被保護世帯数</td> <td>1,146 世帯</td> <td>1,176 世帯</td> <td>1,222 世帯</td> <td>1,253 世帯</td> <td>1,313 世帯</td> </tr> <tr> <td>被保護人員</td> <td>1,492 人</td> <td>1,516 人</td> <td>1,561 人</td> <td>1,587 人</td> <td>1,656 人</td> </tr> <tr> <td>保護率</td> <td>10.19 %</td> <td>10.48 %</td> <td>10.92 %</td> <td>11.24 %</td> <td>11.91 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保護率＝被保護人員÷人口×1,000（単位：％＝パーセント、千分率）</p> <p>2 就労支援対象者の就業率等（総合計画実施計画の活動指標・成果指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労支援対象者</td> <td>79 人</td> <td>63 人</td> <td>54 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援実施者</td> <td>51 人</td> <td>48 人</td> <td>48 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）</td> <td>64.6 %</td> <td>76.2 %</td> <td>88.9 %</td> </tr> <tr> <td>就業者数</td> <td>29 人</td> <td>29 人</td> <td>23 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）</td> <td>36.7 %</td> <td>46.0 %</td> <td>42.6 %</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H29	H30	R1	R2	R3	被保護世帯数	1,146 世帯	1,176 世帯	1,222 世帯	1,253 世帯	1,313 世帯	被保護人員	1,492 人	1,516 人	1,561 人	1,587 人	1,656 人	保護率	10.19 %	10.48 %	10.92 %	11.24 %	11.91 %	年度	R1	R2	R3	就労支援対象者	79 人	63 人	54 人	就労支援実施者	51 人	48 人	48 人	就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）	64.6 %	76.2 %	88.9 %	就業者数	29 人	29 人	23 人	就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）	36.7 %	46.0 %	42.6 %
年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																
被保護世帯数	1,146 世帯	1,176 世帯	1,222 世帯	1,253 世帯	1,313 世帯																																																
被保護人員	1,492 人	1,516 人	1,561 人	1,587 人	1,656 人																																																
保護率	10.19 %	10.48 %	10.92 %	11.24 %	11.91 %																																																
年度	R1	R2	R3																																																		
就労支援対象者	79 人	63 人	54 人																																																		
就労支援実施者	51 人	48 人	48 人																																																		
就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）	64.6 %	76.2 %	88.9 %																																																		
就業者数	29 人	29 人	23 人																																																		
就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）	36.7 %	46.0 %	42.6 %																																																		
成果に係る評価	<p>生活保護制度は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法第25条の理念に基づく、社会保障制度における最後のセーフティネットとしての役割を果たしている。</p> <p>本市の生活保護の動向は、平成23年の東日本大震災の影響により一時的に保護世帯数・人員ともに減少したが、平成24年度中には再び増加に転じ、以降、引き続き増加傾向で推移している。</p> <p>今後、各種震災支援策の終了や新型コロナウイルスの感染拡大等、経済情勢や社会情勢の変化により新たに保護を必要とする市民が急激に増加することも見込まれることから、引き続き実施体制の整備を図り、また、生活困窮者自立支援事業等との連携により多層的なセーフティネットを構築し、生活に困窮している市民の最低限度の生活を確実に保障していく必要がある。</p>																																																				
予算の執行状況	（単位：円）																																																				
予算額	2,488,850,000	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
		2,402,691,705	1,787,272,925			615,418,780																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章																																					
	5 項	災害救助費		第 節																																					
	1 目	災害救助費		( )																																					
担当課	保健福祉部 生活再建支援室		中 事 業	災害援護費（東日本大震災関係分）																																					
実施計画掲載ページ			事 業 名	災害弔慰金・災害障害見舞金給付事業																																					
目的及び事業内容	自然災害により死亡された市民の遺族に対する災害弔慰金の支給を行い、また、自然災害により精神又は身体に著しい障害を受けた市民に災害障害見舞金の支給を行うことにより、市民の福祉及び生活の安定に資する。																																								
取組実績	<p>1 災害弔慰金支給件数及び金額</p> <p>(1) 生計維持者 (500万円) 支給実績なし</p> <p>(2) その他 (250万円) 支給実績なし</p> <p>2 災害障害見舞金支給件数及び金額</p> <p>(1) 生計維持者 (250万円) 支給実績なし</p> <p>(2) その他 (125万円) 支給実績なし</p>																																								
成 果	<p>震災で死亡された方の遺族に対し弔意を示すとともに、市民の福祉・生活の安定に寄与することができた。なお、令和3年度においては災害弔慰金、災害障害見舞金共に支給実績なし。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">災害弔慰金支給状況</th> <th colspan="3">災害障害見舞金支給状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23-R1</td> <td>3,599 件</td> <td>10,613,750,000 円</td> <td>H23-R1</td> <td>6 件</td> <td>10,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1 件</td> <td>2,500,000 円</td> <td>R2</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> <td>R3</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,600 件</td> <td>10,616,250,000 円</td> <td>計</td> <td>6 件</td> <td>10,000,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					災害弔慰金支給状況			災害障害見舞金支給状況			年度	件数	金額	年度	件数	金額	H23-R1	3,599 件	10,613,750,000 円	H23-R1	6 件	10,000,000 円	R2	1 件	2,500,000 円	R2	0 件	0 円	R3	0 件	0 円	R3	0 件	0 円	計	3,600 件	10,616,250,000 円	計	6 件	10,000,000 円
災害弔慰金支給状況			災害障害見舞金支給状況																																						
年度	件数	金額	年度	件数	金額																																				
H23-R1	3,599 件	10,613,750,000 円	H23-R1	6 件	10,000,000 円																																				
R2	1 件	2,500,000 円	R2	0 件	0 円																																				
R3	0 件	0 円	R3	0 件	0 円																																				
計	3,600 件	10,616,250,000 円	計	6 件	10,000,000 円																																				
成果に係る評価	<p>災害弔慰金については、東日本大震災により死亡された方の遺族の確認作業を完了していることから、直接死に対する支給は見込まれない。なお、関連死については申請期限がないことから、申請の可能性は否定できないが、カルテなどの法令上の保存年限（5年）が経過しており、震災との関連を挙証することが困難となっている。</p> <p>また、災害障害見舞金については、負傷又は疾病により精神や身体に著しい障害を受けた場合で、震災との因果関係がある場合を対象とするものであり、平成27年度から申請はない状況となっている。</p>																																								
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
	5,255,000	113,443	国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																				
(単位：円)																																									
予算の執行状況	27,778,000	23,101,653	1,700,000		21,401,653																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																														
	5 項	災害救助費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																														
	1 目	災害救助費		( 3 )	各種相談事業を充実させる																																																																														
担当課	保健福祉部 生活再建支援室		中 事 業	災害援護費（東日本大震災関係分）																																																																															
実施計画掲載ページ	P 65		事 業 名	災害援護資金等債権回収事業																																																																															
目的及び事業内容	自然災害により被災を受けた地域における被災世帯の生活の早期立て直しを図るため、被害を受けた世帯を対象として貸付を実施した災害援護資金の適正な債権回収を行うことで収率の向上を図る。																																																																																		
取組実績	<p>1 貸付の対象</p> <p>(1) 被災日（平成23年3月11日）に、石巻市内に居住していた世帯</p> <p>(2) 世帯主が震災で1か月以上の療養期間が必要な負傷を負った世帯又は住居・家財に著しい損害を受けた世帯 ※ 世帯の人数により所得制限あり</p> <p>2 貸付限度額 150万円～350万円 負傷の程度、損害の種類・程度で貸付限度額に上限あり。</p> <p>3 貸付条件 利 率 連帯保証人あり 無利子 連帯保証人なし 据置期間経過後 年1.5%</p> <p>償還期間 13年（据置期間を含む）</p> <p>据置期間 6年（世帯主の死亡や住居が全壊など特別の事情がある場合は8年）</p> <p>償還方法 月賦・半年賦・年賦（元利均等償還・繰上償還可）</p> <p>4 申請期間 平成23年5月11日から令和5年3月31日まで</p> <p>5 災害援護資金貸付件数及び金額等（令和3年度）</p> <p>(1) 貸付件数 1件</p> <p>(2) 貸付金総額 1,700,000円</p>																																																																																		
成 果	<p>災害援護資金貸付により、被災者の生活の安定や早期の再建に寄与することができた。</p> <p>(令和4年3月31日現在の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">災害援護資金貸付状況</th> <th colspan="3">繰上償還状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～R2</td> <td>3,062 件</td> <td>6,422,317,000 円</td> <td>H23～R2</td> <td>1,600 件</td> <td>1,437,380,547 円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1 件</td> <td>1,700,000 円</td> <td>R3</td> <td>134 件</td> <td>87,744,393 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,063 件</td> <td>6,424,017,000 円</td> <td>計</td> <td>1,734 件</td> <td>1,525,124,940 円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>貸付総額 (A)</th> <th>償還 (B)</th> <th>免除 (C)</th> <th>残債権 (D)</th> <th>残割合 (E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>6,422,317,000 円</td> <td>2,613,363,325 円</td> <td>129,074,211 円</td> <td>3,679,879,464 円</td> <td>57.30%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>6,424,017,000 円</td> <td>3,156,247,642 円</td> <td>179,419,649 円</td> <td>3,088,349,709 円</td> <td>48.08%</td> </tr> </tbody> </table> <p>償還実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>貸付総額 (A)</th> <th>償還 (B)</th> <th>免除 (C)</th> <th>残債権 (D)</th> <th>残割合 (E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>6,422,317,000 円</td> <td>2,613,363,325 円</td> <td>129,074,211 円</td> <td>3,679,879,464 円</td> <td>57.30%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>6,424,017,000 円</td> <td>3,156,247,642 円</td> <td>179,419,649 円</td> <td>3,088,349,709 円</td> <td>48.08%</td> </tr> </tbody> </table> <p>サービス委託実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>委託債権総額</th> <th>回収見込額</th> <th>回収済額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>452 件</td> <td>85 件</td> <td>31 件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>593,850,000 円</td> <td>151,750,000 円</td> <td>5,533,950 円</td> </tr> </tbody> </table>					災害援護資金貸付状況			繰上償還状況			年度	件数	金額	年度	件数	金額	H23～R2	3,062 件	6,422,317,000 円	H23～R2	1,600 件	1,437,380,547 円	R3	1 件	1,700,000 円	R3	134 件	87,744,393 円	計	3,063 件	6,424,017,000 円	計	1,734 件	1,525,124,940 円	年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)	R2	6,422,317,000 円	2,613,363,325 円	129,074,211 円	3,679,879,464 円	57.30%	R3	6,424,017,000 円	3,156,247,642 円	179,419,649 円	3,088,349,709 円	48.08%	年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)	R2	6,422,317,000 円	2,613,363,325 円	129,074,211 円	3,679,879,464 円	57.30%	R3	6,424,017,000 円	3,156,247,642 円	179,419,649 円	3,088,349,709 円	48.08%		委託債権総額	回収見込額	回収済額	件数	452 件	85 件	31 件	金額	593,850,000 円	151,750,000 円	5,533,950 円
災害援護資金貸付状況			繰上償還状況																																																																																
年度	件数	金額	年度	件数	金額																																																																														
H23～R2	3,062 件	6,422,317,000 円	H23～R2	1,600 件	1,437,380,547 円																																																																														
R3	1 件	1,700,000 円	R3	134 件	87,744,393 円																																																																														
計	3,063 件	6,424,017,000 円	計	1,734 件	1,525,124,940 円																																																																														
年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)																																																																														
R2	6,422,317,000 円	2,613,363,325 円	129,074,211 円	3,679,879,464 円	57.30%																																																																														
R3	6,424,017,000 円	3,156,247,642 円	179,419,649 円	3,088,349,709 円	48.08%																																																																														
年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)																																																																														
R2	6,422,317,000 円	2,613,363,325 円	129,074,211 円	3,679,879,464 円	57.30%																																																																														
R3	6,424,017,000 円	3,156,247,642 円	179,419,649 円	3,088,349,709 円	48.08%																																																																														
	委託債権総額	回収見込額	回収済額																																																																																
件数	452 件	85 件	31 件																																																																																
金額	593,850,000 円	151,750,000 円	5,533,950 円																																																																																
成果に係る評価	<p>東日本大震災の被災者に対し、生活の再建に資する目的で貸付けを行った災害援護資金については、原資が国と県からの借入金であることから、償還期限までに全額返済する必要がある。</p> <p>令和3年度より市内・市外在住の督促状や催告書への反応がない「無反応者」に対しサービサーによる訪問調査を行った結果、回収困難として調査委託した総額5億9,385万円の内、約553万円の債権回収を行ったほか、債権総額1億5,175万円に対する納付相談に繋がったことから、今後も適切に債権を管理し収率の改善に取り組む必要がある。</p>																																																																																		
(単位：円)																																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																
	27,778,000	23,101,653	国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																																																														
(単位：円)																																																																																			
予算の執行状況	27,778,000	23,101,653	1,700,000		21,401,653																																																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章																																													
	5 項	災害救助費		第 節																																													
	1 目	災害救助費		( )																																													
担当課	保健福祉部 生活再建支援室		中 事 業	被災者支援事業費（東日本大震災関係分）																																													
実施計画 掲載ページ	P 65		事 業 名	被災者生活支援事業																																													
目的及び事業内容	<p>応急仮設住宅等から復興公営住宅等の恒久住宅へ移転後も、様々な生活の課題を抱える被災者に対する相談・生活支援を推進するとともに、被災者個々の孤立防止のために新しい地域コミュニティの構築を支援するなど、「被災者支援総合交付金実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開することにより、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。</p>																																																
取組実績	<p>1 復興公営住宅等生活相談支援事業（被災者見守り・相談支援事業） 石巻市内の民生委員・児童委員協議会担当地区（16地区）に地域福祉コーディネーター、地域生活支援員等を配置し、地区内の復興公営住宅等の恒久住宅に移転した被災者への相談支援、見守り事業等を実施するとともに、地域コミュニティ支援活動を実施した。</p> <p>2 社会福祉士等相談支援事業（被災者支援総合事業） 様々な課題を抱えた被災者に対し、社会福祉士等の専門職による相談・生活支援等を実施した。</p>																																																
成 果	<p>東日本大震災により被災し、復興公営住宅等に再建した被災者に対する見守りや寄り添い支援、制度へのつなぎ、地域コミュニティ構築支援等を実施することにより、被災者の生活支援が図られた。</p> <p>1 復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>復興住宅訪問件数</th> <th>防集団地訪問件数</th> <th>応急仮設住宅訪問数</th> <th>地域活動参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>27,383件</td> <td>1,982件</td> <td>42件</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>28,777件</td> <td>4,108件</td> <td>—</td> <td>376人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>38,456件</td> <td>4,203件</td> <td>—</td> <td>344人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 社会福祉士等相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>訪問</th> <th>電話</th> <th>調整等</th> <th>関係機関へ案内</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>579件</td> <td>855件</td> <td>248件</td> <td>793件</td> <td>2,475件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,339件</td> <td>2,005件</td> <td>507件</td> <td>599件</td> <td>4,450件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>834件</td> <td>1,163件</td> <td>522件</td> <td>614件</td> <td>3,133件</td> </tr> </tbody> </table>						復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	応急仮設住宅訪問数	地域活動参加人数	R1	27,383件	1,982件	42件	41人	R2	28,777件	4,108件	—	376人	R3	38,456件	4,203件	—	344人		訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計	R1	579件	855件	248件	793件	2,475件	R2	1,339件	2,005件	507件	599件	4,450件	R3	834件	1,163件	522件	614件	3,133件
	復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	応急仮設住宅訪問数	地域活動参加人数																																													
R1	27,383件	1,982件	42件	41人																																													
R2	28,777件	4,108件	—	376人																																													
R3	38,456件	4,203件	—	344人																																													
	訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計																																												
R1	579件	855件	248件	793件	2,475件																																												
R2	1,339件	2,005件	507件	599件	4,450件																																												
R3	834件	1,163件	522件	614件	3,133件																																												
成果に係る評価	<p>阪神大震災後の孤独死の実態を踏まえ、復興公営住宅などの再建先で、入居者等の心身の状態が安定するまでの間、訪問・相談等による見守り支援事業の継続を要する。 また、令和2年度より、持続可能な地域コミュニティの構築に向けて、「地域における支え合い」へ支援体制の移行を進め、今後も「地域における支え合い」構築を支援するとともに、被災者支援活動を継続的にを行い、孤立化・孤独死などを未然に防ぐ見守り等を継続して取組む必要がある。</p>																																																
（単位：円）																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	157,181,000	147,128,376	147,127,000			1,376																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章																														
	5 項	災害救助費		第 節																														
	1 目	災害救助費		( )																														
担当課	保健福祉部 生活再建支援室		中 事 業	被災者住宅再建補助事業費（東日本大震災関係分）																														
実施計画 掲載ページ			事 業 名	被災者住宅再建支援事業〔復興基金〕																														
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、被災住宅の再建を行う被災者に対し、住宅再建資金の一部を補助することにより、被災者の負担軽減を図り、本市への定住促進を促す。</p>																																	
取組実績	<p>1 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金</p> <p>(1) 建設・購入</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 利子補給補助</td> <td>上限額</td> <td>444万円</td> </tr> <tr> <td>イ 取得費用補助</td> <td>上限額</td> <td>250万円</td> </tr> <tr> <td>ウ かさ上げ工事等</td> <td>上限額</td> <td>100万円</td> </tr> </table> <p>(2) 補修</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 利子補給補助</td> <td>上限額</td> <td>150万円</td> </tr> <tr> <td>イ 補修費用補助</td> <td>上限額</td> <td>100万円</td> </tr> </table> <p>2 補助金交付件数及び交付金額</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 被災者住宅再建事業補助金</td> <td>交付件数</td> <td>489件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交付金額</td> <td>1,707,781,000円</td> </tr> </table>					ア 利子補給補助	上限額	444万円	イ 取得費用補助	上限額	250万円	ウ かさ上げ工事等	上限額	100万円	ア 利子補給補助	上限額	150万円	イ 補修費用補助	上限額	100万円	(1) 被災者住宅再建事業補助金	交付件数	489件		交付金額	1,707,781,000円								
ア 利子補給補助	上限額	444万円																																
イ 取得費用補助	上限額	250万円																																
ウ かさ上げ工事等	上限額	100万円																																
ア 利子補給補助	上限額	150万円																																
イ 補修費用補助	上限額	100万円																																
(1) 被災者住宅再建事業補助金	交付件数	489件																																
	交付金額	1,707,781,000円																																
成 果	<p>住宅の建設・購入に係る費用を一部補助することにより、被災者の住宅再建を促進するとともに住宅再建制度における支援格差の解消に寄与した。</p> <p>被災者住宅再建補助事業 補助金交付件数及び金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">住宅再建事業</th> <th colspan="2">危険住宅移転事業</th> </tr> <tr> <th>実績件数</th> <th>金額</th> <th>実績件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25-R1</td> <td>0 件</td> <td>27,413,047,000 円</td> <td>0 件</td> <td>1,029,786,000 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>588 件</td> <td>1,743,216,000 円</td> <td>1 件</td> <td>4,862,000 円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>489 件</td> <td>1,707,781,000 円</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,077 件</td> <td>30,864,044,000 円</td> <td>1 件</td> <td>1,034,648,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業		実績件数	金額	実績件数	金額	H25-R1	0 件	27,413,047,000 円	0 件	1,029,786,000 円	R2	588 件	1,743,216,000 円	1 件	4,862,000 円	R3	489 件	1,707,781,000 円	0 件	0 円	計	1,077 件	30,864,044,000 円	1 件	1,034,648,000 円
年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業																															
	実績件数	金額	実績件数	金額																														
H25-R1	0 件	27,413,047,000 円	0 件	1,029,786,000 円																														
R2	588 件	1,743,216,000 円	1 件	4,862,000 円																														
R3	489 件	1,707,781,000 円	0 件	0 円																														
計	1,077 件	30,864,044,000 円	1 件	1,034,648,000 円																														
成果に係る評価	<p>本事業は、被災者の住宅再建及び国の制度との支援格差の解消に寄与してきたものである。 また、本事業を含む補助金の対象世帯に対するアウトリーチとして、住まいの再建状況調査を平成30年度より継続して行ったことにより被災者の住宅再建に寄与した。 本補助金の財源となる震災復興基金が令和2年度、令和3年度、令和4年度と3年間延長されたことから、同様に住宅再建事業も延長したところである。 延長の最終年度となる令和4年においては、市報やホームページはもとより新聞掲載のほか、補助金を利用しての施工実績のある業者等に、直接通知を送ること等広く制度の周知を図る。</p>																																	
（単位：円）																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																												
	1,867,493,000	1,715,300,533			1,707,781,000	7,519,533																												